

岡崎市障がい者福祉に関する アンケート調査結果 【意見・要望等】

※ここに掲載した意見・要望等については、誤字、脱字等の軽微な修正及び特定可能な法人名等を一部伏字とすることにとどめ、内容の修正等は一切していません。したがって、事実と判断できない内容や正しい解釈ではない内容なども含まれている可能性があります。

1. 障がい者

○身体障がい者手帳所持者

- ・ ある日突然、障がい者と呼ばれる立場になって戸惑ってばかりの10年間でした。2015年に、脳出血で左半身麻痺に。周りの人たちのあたたかい見守りやちょっとした親切にすごくうれしくなりますが、心ない言葉や視線に傷ついて心折れることもあります。麻痺になって10年目の今年、ますます、普通には（杖で）歩けなくなりました。これから加齢とともにどんな風になっていくのか、本当は、実際に障がいを持って日々がんばっている方たちの生の声を聴きたいです。結局は、今の自分のつらさは自分にしかわからない。健常の人たちにわかってもらおうとするには無理があると閉じこもってしまいそうになるけど。周りの人たちは本当によくしてはくださるのだけれどもね。
- ・ アンケートには周りの健常者に理解を求める回答が多く感じた。しかし、理解を求めるだけでなく、障害当事者からも意見や要望などを伝えられる機会、参加型の場をつくり、健常者、障害当事者が一緒につくる福祉を目指してもらいたい。
- ・ インクルーシブに期待。
- ・ このアンケートを表示させるのに https から 9795 まで入力し検索をクリックしても表示できなくて、時間がかかりました。結局4時間くらいかかった。もっと人にやさしい入力フォーム、システムにしてください。基本中の基本だと思います。
- ・ ショートステイ、ロングステイが可能な施設が増えるとよいです。
- ・ せっかく保険点数がありリハビリに行かせてもらっているのに叔母さんたちは、井戸端会議場化していて、器具に乗っていても運動しないで話をしていて、次の人が待っている事態。スタッフにひとこと言ってもらえば文句を言うてくる始末。審査する時に、ケアマネや利用している施設等の情報も入れて、治す気があるのか判断するのも必要ではないだろうか。治したい人に保険点数を上げるなど、気分転換で介護施設利用が悪くなる。リハビリする気のない人に介護保険の点数上げるなら、早く治したい人に上げて治してもらい、介護認定を外した方が将来的によくないでしょうか。
- ・ タクシーの割引を利用させていただくようになりました。ありがとうございます。右手が不自由ですから。
- ・ タクシー券が減ったので元に戻してほしい。外出できなくなった。
- ・ 特に職場での理解が得られない。障害者が大変なんだということを感じてもらえるような看板を設置してください。つまり、雰囲気づくりが大切。何卒よろしく願いいたします。
- ・ パーキングパーミット制度で施設の駐車場を利用したい。

- ・ ひとり暮らしですので緊急の連絡に困ります。
- ・ 愛知環状鉄道が最寄りですが、いつも駅員さんがいないタイミングが多く、障害者割引で切符が買づらい。名古屋まで出る際も、結局一度岡崎駅にて降りて切符を買いなおし、また駅員さんに言わなきゃいけない。すごく不便だし、時間もかかる。もう少し便利にしてほしいです。
- ・ 一人ひとりに合ったやり方で（1級だからここからここまでとか2級だからここまでとか）。人それぞれ同じ等級だからと言って同じではないので、その辺考えてほしいです。
- ・ 岡崎市を含む愛知県は自動車産業が多く、公共交通機関が発達していないため、充実させてほしい。「名古屋市を省くバス路線」、それと交通費が大都市「東京、大阪など」より電車、バス、タクシーなどが高いので、安くしてほしい。特にバスは均一料金にしてほしい。
- ・ 岡崎市民病院がイメージ悪いので健康診断行く気がなくなった。まあいいです。
- ・ 岡崎城公園の周辺は商店街が残り●●、いろいろな科の病院などが栄えているが、それ以外の地区は、どこの施設へ行くのでも車が必要です。岡崎市がお年寄りや障害を持たざるをえない人たちにやさしいまちであることを望みます。
- ・ 居宅介護の数が減らされると困るのですが、そんなに介護士の人数が少なくなっているのでしょうか。
- ・ 高齢世帯にとって運転できなくなったら、末端の地域に住む住民にとって移動手段が（公共の乗り物）皆無。市民病院の建っている大平町洞町の住民は市民病院に行く手段が全くありません。知立のように乗り換え自由の路線で岡崎全体市民が不安なく移動できることを望んでいます。豊田市が進めている「複合施設没」「スープタウン」のような物を大平の水道局跡地に建築にしていだけませんか。「福祉の町づくりプロジェクト」の発足を願います。いつも支援ありがとうございます。
- ・ 今、経済的支援がいちばん必要だと思う。
- ・ 災害時の移動手段がない。両親が年老いているので（80歳過ぎ）それが不安。
- ・ 市役所へ行くのが遠い。
- ・ 文章の理解が得意ではないので間違いがあると思う。
- ・ バス無料がいいです。タクシー券は使ってないので、紙がもったいないから名古屋市みたいにバス無料券がほしいです。
- ・ 普通に生活できているので、なかなか介護の話は難しいです。
- ・ 障害の当該者になって初めて知る障害者に対する多様な福祉政策に驚きました。と同時に、このような施策を実施しようとする岡崎の行政も大変な福祉事業だと感心しています。だから私たち障害者である当該者は、少しでも自力で日常生活が過ごせるよう努力することだと痛感する次第です。

- ・ 視覚障害者です。東岡崎駅周辺の再開発により、外出が困難になっています。タクシー乗り場も、バスターミナルも変わってしまい、何もわかりません。情報提供を切望します。
- ・ 視覚障害者は、働く場を見つけることが大変。正社員にはなれなくて、経済的に大変である。
- ・ 自分は喉頭摘出者で音声障害の3級ですが、やはり働く場所が少なく、あったとしても収入はとて少ないです（電話対応などができないため資格などあっても採用されない）。私たち身体障害者への生活給付金をもっと充実させてほしいです。
- ・ 自分個人としては、現状一人で不自由なく生活できていますが、人の付き添いをして電車等を使用して病院へ行ったりしていて、エレベーターとかエスカレーターがここにもあるとよいとか、手すりも右にあって左にないとか思います。
- ・ 手話もよいけどスマホを活用して機能を使えるようにする（読み上げ機能など）。マイナンバーカードの電子カルテのフォーマットをマイナンバーに登録してダウンロードしてカルテに書くようにする。
- ・ 重度訪問介護サービスを利用しやすい環境にするため、事業所が積極的に運用できるようにしてほしい。障害サービスから介護保険サービスに移行すると、同じサービスが受けられなくなるので不安。
- ・ 障がい者に理解がある病院をつくってほしいです（特に眼科、耳鼻科）。
- ・ 障がい等級にかかわらず経済的な支援はしてほしい。
- ・ 障がい者への理解を深めていただき暮らしやすい生活ができるよう、絶大なる支援をお願いいたします。現在支給されているタクシー割引券は、利用者負担が大きく利用率がかなり低いため、利用額を抑え全額補助するのが望ましいと考えます。
- ・ 障がい者をよい意味でも悪い意味でも特別扱いする、これが一番の差別と偏見だと思います。心身の障がいを持つ個人という認識があって初めて一歩進むのではないのでしょうか。障がい者側も、できない自分を受け入れることを放棄しない、助けてもらったら感謝を口にする、この行為を省かないでほしいです。健常者と障がい者の落としどころを設定する上でコミュニケーションは必須であり、ここに第三者的立場の介入が不可欠と考えます。それが公的機関・福祉課であり事業所であり、その職員であると愚考いたします。いつもありがとうございます。
- ・ 障害があっても楽しめる方法がほしいです。例として、温泉、買い物、外食など楽にできること。手助けを受けながら楽しみたいこと。
- ・ 障害者だからといって甘えすぎていて、病院に行きまくったりする人を見ると腹立たしい。精神障害2、3級をもらっている人が運転をするのはどうかと思う。責任は取れるのか。障害手帳をもらった人は免許を持っていていいのだろうか疑問に思う。
- ・ 障害者として、岡崎が障害者に暮らしやすいまちになること、福祉課が障害者によりそった対応

が少しでもできることを願っています。岡崎の福祉が普通と思わないでください。岡崎の福祉はかなり遅れています。

- ・ 障害者になった頃、入院、手術が終わるのに4, 5年かかることになり、仕事も辞めなければならず、いろいろな手続きのついでに福祉課へ相談しました。急に収入がなくなり同じような障害の方にはどのように生活をされているのかと。生活保護の担当の方に聞いてみてくださいと言われ、聞きに行ったら暴言や侮辱等のひどい対応でした。まさか市役所で泣くとは思いませんでした。それからの生活が不安で鬱々する日々でした。生活保護を受けたくて相談をしたわけでもないのに、通帳を開かせて「11万を切ってから来い」という感じでした。働けないが生活保護も受けない日々です。ちゃんと相談できる場所が必要です。
- ・ 障害者に対してもう少し理解できるまちづくりにしてほしい。障害者に対して、働きやすい環境をつくってほしい。もう少し精神障害者の賃金を増やしてほしい。それと、それをサポートする人を増やしてほしい。モニタリングの住宅支援は継続してほしい。
- ・ 心優しく接してほしい。気楽に楽しくなるように接してほしい。
- ・ 親の自分が入院することになり、子どもの同行支援が必要だと思い申請はしましたが、新規は受け付けていないと断られたり、未だに同行支援をしてもらえていません。もっと同行支援をしていただける人を増やしてほしい。
- ・ 精神障害の医療費は排除すべき。上限を設けるか、精神の診療のみゼロにする。私は30年以上働いてきちんと税金を納めてきた。社会保険料も払い、その税金がずるい方法で障害年金をもらっている人がいるのは許しがたい。腹が立って字もきれいに書けない。障害年金をもらえなくなってしまうように働くのを調整する人が多い。A型に2年上いるが、8割以上の人がそういう人。もっと更新をきつくしてほしい。
- ・ 知らない事柄ばかりですので、丁寧に親切に教えてください。
- ・ 中高年齢にはわかりにくい。
- ・ 点字ブロックをもっと増やしてほしいです。音が鳴る歩行者用の信号を増やしてほしいです。
- ・ 動けない時、病院に行く時、タクシーが来てもらえず困ることが多々ある。
- ・ 日中一人で生活している。体が不自由で朝早く起きられない。朝食、昼食は一回ですませている(12時頃)。食事内容も悪く、品数も少ない。自分でつくって食べるためなので、バランスのとれた食事をしたい。
- ・ 年金少量の給料ではいろいろな物が高くなっています。国に少額でもいいから支援していただきたい。命のある限り生きていかななくてはならない性分に情けなく思う。
- ・ 病院は歳だから出ます。
- ・ 福祉施設で働く方々への支援も重要と考えます。家族の代行でがんばってくれている方たちに感

謝しています。その方たちへの生活、給与への支援がしっかりしていないと現場はよくなりません。いつもおだやかに入所者をみられるだけの心と生活の余裕をその方々にあげてほしいです。

- ・ 補聴器購入代金、両耳分支援してほしい。
- ・ 豊田市の病院でぼうこう癌の発見、手術、術後のフォローをしていただいている。しかし、岡崎市北部から豊田市への公共交通の便が悪い。唯一の手段であるタクシーも、コロナ以降、運転手不足から予約できない状態となっている。
- ・ 車いすを利用しているけど、道路が狭く外出するにはなかなか難しいです。
- ・ 友愛の家の講座を利用しています。右手を切断した私にとって、人目を気にせずに体操などができる貴重な場所です。職員さんたちも親切でいつまでも続けてほしいです。
- ・ 老齢基礎年金が受給できるようになったら、障害年金が受給停止になったので、また、受給できるようにしてほしい。障がい福祉サービスというのが、どういった内容で、どういうもので、どういう時に利用できるのか、もっとテレビやリブラ、コンビニ、商業施設、岡崎城公園等、身近な生活動線で目に触れる機会が増えないと、そうサービスがあるのも知りようがないし、当然のように利用できない。
- ・ (妻の私見です) 本人は持病もあり、認知症も進んでいると思います。今、介護の認定審査の最中です。介護のサービスを受けることを本人はとても嫌がっております。家族としてはこれが一番の悩みです。今後もアドバイス、ご指導をよろしく願いいたします。
- ・ 障がい福祉の皆様にもいつもありがとうございます。

○療育手帳所持者

- ・ 女子高生より、警察官を通して送迎車の運転手さんに、本人のいる前、他の利用者さんがいる前で「怖いから時間をずらしてほしいやそこで待つな」と言われてとても傷つきました。以前、一般の方におどかされてこわい思いをして、警察に相談したら改札口で待つといいとアドバイスをうけて待っていたのに、どういうことでしょうか。本当に弱い者を下に見る世の中を痛感しました。我が子も人間で一生懸命生きており、仕事もがんばっております。迷惑をかけないように生きている我が子を社会で守ってほしいです。もちろん家族でも守っていきます。障害者優先な世の中になりますように。(母より)
- ・ アンケートをとり、少しでも前向きに動いていただけること、ありがたいと思います。
- ・ 親がいなくなったら、また相談したいと思います。またよろしく願います。
- ・ グループホームの施設を増やしてほしい。グループホームの内容についても、移動支援も加えたサービスがあるとよいと思います。福祉に携わる方々の賃金を上げていただいて働く人員を増やしてほしい。

- ・ このようなアンケートを実施いただいたことに感謝いたします。予算、人員、課題の優先順位等、種々の問題があることは理解できますが、名古屋、豊田などの方のお話を聞くと、うらやましいサービス(民間サービスの充実、公共施設の利用料金など)が多々あります。尽力いただいていると存じますが、ニーズに合ったサービスの充実をお願いいたします。
- ・ タクシーを利用しない人は、バス券みたいなものを配ってほしいと思う。
- ・ タクシー券の利用方法を考えてほしい。療育Bの手帳を持っています。半額チケットは運転手さんの言われるままです。タクシー会社によっても違いがあります。一人で利用不可です。親同伴でないと。
- ・ タクシー券を以前のように利用しやすくしてほしいです。自家用車を利用している者としてはガソリンの補助の方が利用しやすいです。自動車税を免除してほしい。
- ・ タクシー補助券をいただいています。それよりも名鉄バスなどの公共交通機関の補助券の方がよいです。よろしくお願いします。作業所に通うにも、交通費が高くて苦勞しています。
- ・ とにかく親がいなくなった後、安心して暮らせる場所の確保、ちゃんと運営してくれる事業所のチェック。市役所の方々、どうかよろしくお願いします。
- ・ どの家庭でも自分たちがいなくなった後、この子はどうなるのかと不安でいっぱいだと思います。私たちは夫婦ともに60代です。これからもよい思い出をできるだけつくって行きます。
- ・ バスの路線を増やしてほしいです。障害者のタクシー券2冊では足りないのもう少し増やしてほしいです。
- ・ ヘルパーさんの確保。
- ・ 意思疎通のとりかたの難しい子です。どれだけ周囲の方が力になってくださるか、私(80歳以上)亡きあとが心配です。
- ・ 岡崎マラソンは障害があっても市内で安心して参加できる大会でしたのに、なぜ中止になったのでしょうか。岡崎市ホームページの中止理由を読んでも納得できません。とても残念です。
- ・ 岡崎市は他市(豊田市除く)より障がい者対応は進んでいると思うが、移動(交通手段)をどうするのかをもっと考えてほしい。また、福祉サービス利用者への届け出をさせる頻度が多い。相談支援員の訪問はなく、公務員的な仕事運びは改善してほしい。
- ・ 岡崎歯科総合センターが閉鎖となり困っている。
- ・ 岡崎歯科総合センターにおける障害児者歯科治療再開を強く希望します。
- ・ 我が家の息子は体格がいいため、スーパーや買い物時、公共の場(電車など)とかで、幼い幼稚園以下の子どもの目にジロジロ見られるのがつらいです。その子どもたちの親の資質が問われるとともに、もっと自由に行動できる社会になってほしいと願っています。
- ・ 介護する親が年を重ねる度に不安は大きくなっている。医療的ケアのできるヘルパーがいつでも

助けてくれる制度を待ち望んでいます。本人は施設ではなく、自宅で最後を迎えることが願いで

す。

- ・ 携帯でやる年末調整のやり方が難しいです。住所や名前はできますが、いろいろ打っていくのが大変でした。アンケートも難しかったです。適当になってしまいました。ごめんなさい。
- ・ 交差点のドライバーさんの運転が怖い。いつも車にひかれそうになる。ドライバーさんは、赤信号で行く人もいるし、歩行者が困らない運転をしてほしい。
- ・ 公共交通機関の料金をもっと補助してほしい。
- ・ 今回のアンケートを通じて、岡崎市が障がい者、障がい者福祉について理解を深めてくださることに大変感謝しています。見た目ではわからない障がいを持っていると、医療機関や公的機関で受けた説明が理解できない時、ばかにしている（されている）と感じることがあります。健常者からの理解を期待します。
- ・ 作業所、施設の職員さんの賃金を払えるよう市としても助けていただきたいです。
- ・ 施設に不満はありませんが、作業工賃が平均とする金額より毎月5～6千円低いのです。平均の差とは1,000～2,000円程ではないのでしょうか。過去に監査が入り、平均に追いついたことがあります。市の施設ではないので監査が入るのは無理なのではないのでしょうか。食費も上がりますので、今後出費の方が多くなり、赤字見込みです。
- ・ できるだけ娘と一緒に暮らしたい。障害者と老人が同居できる施設をつくってほしい。
- ・ 私はヘルプマークを持ちません。他人はそれを見たら助けてくれるのでしょうか。気づいても見えて見ぬふりして、無視するのが普通だと思います。もっと私よりも老人のひとり暮らしなど、生活や行動が大変な思いをしている人もいます。障がい者と同様、年配の方もヘルプマークを持ってほしいです。
- ・ 字がわからないのでひらがなを打ってもらいたい。
- ・ 自分(母)が死亡した後、兄弟にめんどうを見てもらうことはできないと思うので、それが心配。本人も不安になると思う。どうしたら本人が安心して暮らすことができるか。今できることはどうしたらいいか。
- ・ 自閉症と診断された息子は、施設入所者として生活しています。かつて、施設というと暗いイメージを持つ方もみえたかと思いますが、施設はひとつのコミュニティーであり、そこには支援員さん、看護師さん、栄養士さん、事務職員さんなど多数の人が関わりを持ってくださるひとつのまちです。一週間の時間割が決められ、絵画指導の先生、体操の先生、地域のボランティアの方が草刈りもして下さいます。以前は地元の小学校の運動会にも参加させていただき保護者も参加して楽しいひとときを過ごしました。地域の皆様のご理解があつてのことです。月一回発行されます「施設だより」によって私たちは施設の活動を知ることができます。誕生日会、ランチ会、

見学会、秋の感謝祭には地元の方も参加して楽しいひとときを過ごしました。一年を振り返りますと、グループごとに日帰り旅行をしています。行き先はのんほいパーク、ぎょぎょランド、トヨタ記念博物館等、様々ですが、コミュニケーションの不得手な所生を外出させてくださる支援員さんには感謝の言葉しかありません。まだまだ書き足りないのですが、このように息子の生活を支えてくださってみえる行政機関に対しては心の中でいつも感謝しております。自由にご記入くださいとありましたので、自由に書かせていただきました。ありがとうございました。

- ・ 就労施設によって昼ご飯、送迎無料という所とすべて無料という所があるが、どういうからくりかなと思います。中には、障害の特性等に理解のない所もあるようですので、立ち上げの際にはしっかり審査してもらいたいです。グループホールの定期チェックも。
- ・ 将来的には自宅でヘルパーさんなど 24 時間対応サービスで生活できるのが理想です。しかし、ヘルパーが足りないなど、現実は厳しく、現状では困難です。なので、やはり GH に入れてもらうことを考えています。しかし、GH も足りてはいない。近年、問題になっていた GH の会社の運営等、立場の弱い親として苦勞されたことと思い、今後も細かくチェックし、本人たちが幸せでいられる居場所ができたらしと切に願います。また志を持って働いてくださっているヘルパーさんたちは経済的に十分な生活ができる収入を得られるようにしてあげてほしい。そうすれば希望してくれる人も増えると思うし、さらにヘルパーの質を高めていけると考えるのですがどうでしょうか。成年後見人制度については、現在の内容では納得できず決める気になれません。福祉避難所を岡崎は公表していない。他市区町村、他県では新聞の記事になったりして公表されているのに、岡崎市はなぜ公表できなのかな不満です。
- ・ 障がい者が、保護者死亡後、安心して生活ができる制度の確約。障がい者が 65 才以降も安心して生活できる制度の確約。2つの制度の確約した物を文章化してほしい。
- ・ 障がい者が暮らしやすいまちにしてほしい。健常者も含めて誰もが暮らしやすいまちにほしい。
- ・ 障がい者であっても家族のように考えてほしい。外国人が増えているので分けてほしい（マナーを考えてほしい）。
- ・ 障害者の歯科医療の復活(歯科総合センターでの治療をしてほしい)。 有料でもいいので治療してほしい。
- ・ 障害者の貸し切りの日をつくってほしい。例えば、第1、第3などいろいろな公園や専用のレストランなど。
- ・ 毎回思うことですが、県も市もアンケートの取り方が非常に悪いと感じます。重度知的障がいの場合、本人以外の親などが回答となります。本人の意思を尊重してとありますが、「本人の意思尊重」＝「親の考え」でよいのか、よくわかりません。子どもが回答できない場合は、本人の日

ごろの様子が見える方（ご家族の方や職員など）の考えで回答などとしていただかないと、答えに困る。親（常に介助をしている）の意見は、障害のある我が子や周囲の障害者の方の生活向上の基礎資料として活用していただけないのか。アンケートの取り方（内容）の検討をお願いしたい。

- ・ 親が高齢ですので、福祉申請書を記入することを今は何とか行うことができますが、今後が心配になります。若い人がいないから、車が乗れないし、役所に行くにもどうしてもタクシーを利用するしかありません。何かしら、よろしく願いいたします。
- ・ 親亡き後、住みなれた家、地域で生活できる制度を充実させていただきたい（グループホーム含めて）。
- ・ 親亡き後のことが一番心配で不安であると、どの障害を持つ保護者は、同じ気持ちである。できれば、親子と一緒に暮らし、それをサポートしてくれるサービスがあれば、心配が少なくなると思います。
- ・ 生活介護、短期入所、日中一時を利用させていただき支援していただいておりますことに感謝しております。よりよい支援を望みます。親が安心して利用させていただくことができないこともあります。職員の増員が必要です。
- ・ 地域の包括支援センター（高齢者）の地域福祉センターがありますが、障害福祉関係もあればよいと思います。
- ・ 通勤時の支援があると助かるのですが、今は車で両親が連れて行っているが、親が歳をとったら本人も仕事に行けなくなる。せっかく正社員として働いているのに。
- ・ 土・日や就労支援事業所を休んだ（本人の気分で）時の預け先があるととてもありがたいです。
- ・ ●●や●●などで通所していた所で、15年前とかに人に手をあげたりすることがあった時などに、見たこともない行ったこともない施設から、その人の受入れはできませんと人づてに聞いた時はショックでした。岡崎市の施設は受入れしていただけないので、刈谷市の●●に週1日通所しています。
- ・ 福祉事務所の人にはやさしく話していただけて助かっています。どうしても親がかりになってしまい、ひとり立ちが難しいので、少しずつ自立していきたいと思っています。これからもよろしく願いいたします。
- ・ 本人は51歳で親の私は83歳です。現在の制度にほぼ満足し、私自身はありがたく思って国や市に対して感謝しております。

○精神障害者保健福祉手帳所持者

- ・ 精神障害の子どもは症状が不安定にも関わらず、既に30を超え、子どもの精神や生活できてい

ない状態を考えると、私自身もうまく活動できない状態なので、今後どうしていけばよいのかとても心配しています。この状態での具体的な相談に乗ってくれる心強い窓口があればなと思います。

- ・ 医療費の支援は助かっています。継続をお願いします。どのような支援が使えるのかわかりづらいので、わかりやすくしていただけると幸いです。
- ・ A型を利用していますが、事業所に市から補助を多く出し、事業所が閉鎖することなく長く働けるようにしてほしいです。あと、私的な困りごとなのですが、同じ利用者の中であまりにも作業ができない方が、少ない作業量で同じ賃金をもらっていたり、支援者に反抗したり指示を聞かなかったりするということがあります。明らかに自分との作業量が違ったり、難しい仕事を回されたりともやもやすことが多いです。事業所や支援員に話を聞いてもらっても、雇用契約を結んでしまっているのです、こちらからは何もできないと言われてしまいます。できれば、ご本人の適する所に行けるような仕組みがほしいです。その格差が結構つらく、定期的に体調を崩してしまうので。
- ・ B型とかA型とかの事業所を8時間労働にする。生活費が稼げない。精神科の病院の初診日が不明なので、幼少期に幻覚見ている、障害年金くれない。年金以外の税金を障害年金に充てるなら、全員もらえるようにすべき。一般の障害者雇用を増やしてほしい。入社条件の緩和。幼少期から頭がおかしいのに職歴ある訳ない。
- ・ B型事業所の話なのですが、時間工賃（時給100円）と、実績工賃（個人で稼げた分）で、どちらでもではなく、どちらか多い方しかもらえないのですが、これは普通なのでしょうか。スキルアップのため、PCを活用したクリエイティブ系の作業所が増えるとうれしいです。ネットの普及でYouTubeやXなど個人で稼ぐ道もできてきたと思います。作業所もyoutuberやeスポーツ、イラスト、アニメ、作曲、ゲーム作成など（というかおもしろく注目を集められるものなら何でも）を幅広くしてもらえるとありがたいです。
- ・ アンケートありがとうございました。今後の岡崎市に期待をし、アンケート回答いたしました。よろしくをお願いします。
- ・ アンケートにあまり長い文章を書かないでほしい。読めないです。
- ・ アンケートの内容がわかりにくく苦労した。
- ・ お金がありません。
- ・ お金に困っている。工賃を上げてほしい。
- ・ グループホームに入居し、まもなく体験利用の方が私たち利用者に対しての毎日、何度ともわたるととてもすごく激しいハラスメント行為があり、管理者の職員さんに何度となく話をしましたが、無理矢理にでも入居前提だからと、知的障害だからしょうがないと、支援をしてくれなかった。

対応していただけなかったことで、とてもすごく私たち利用者が困ってしまったことがあり、残念で無念でした。

- ・ グループホームの世話に知識のない人が多く来た食事は湯せんばかり。職員の給料はよいのに手ぬきを感じる。やはりホームだから最低でも資格の人を。作業所Bの職員も上から目線でしてあげていると言う。質が悪い管理者だから、その下も同じ。自分たちがいるから職員の仕事があると思っていない逆の言葉。パラハラと思っていない、障害者をバカにしている。B型で工賃が歩合制で一番よくても300円未満だ。昼の弁当は700円取るから、AもBも一緒の工賃が望ましい。歩合ですよ。企業と同じですが、たった1時間300円。物価高でやれない。
- ・ こんなアンケートは形だけのものです。何も改善されません。机の上で仕事をしないで、障がい者一人ひとりの生の声を聞きに一人ずつ家を訪ねたらどうですか。
- ・ 生活介護事業所に週3回息子は通っていて、収入は月に二千元ないです。50万なんて、とてもとても。収入の平均額を知りたいと思いました。次回その点も教えていただきたいです。
- ・ ショートステイ、グループホームなどの施設が少ないと思う。グループホームを探して入所したいと思っても見つからない。
- ・ タクシー券を半額でなく全額使えるようにしてほしい。
- ・ なぜ障害者は一生障害者で岡崎にいと決めつけるのですか。私は、将来的には健常者に戻るつもりでいますし、愛知県からも出ていく予定です。病院の医師にもそのように伝えて診察をしていただいています。両親とも一生一緒に暮らすつもりはありませんし、岡崎からも出ていく予定です。一生田舎で両親と障害者で暮らすと決めつけることは、非常に失礼で不愉快です。今後は改めてください。
- ・ ヘルパーさんが人手不足ということで困っています。サービスの認定は受けていますが一人やめられる際にちょっと言えなくてあきらめてしまいました。便利屋さんを使用していますが、すごい勢いで料金がかかってしまい、土地を売ることになりました。便利さんとトラブルもありました。今は知り合いの電気屋さんが便利屋としてサポートしてくれているので助かっています（料金はもちろん必要です）。いろいろ問題はありますが、便利屋さんを使用できるサービスを考えてもらいたいです。タクシー券みたいな感じとか。どうでしょうか。土地を売買するにあたり、グループホームの見学にも行きましたが、部屋が狭すぎてとか、部屋はいいけどとかあり、2つしか見学していないのでわからないのですが（単身者でもあり）。市営住宅の相談に行きましたが、私のような身内がなく連絡先がない人は入れないとか、連絡先のために福祉担当の方から保証会社を教えてくださいとか、ちょっとびっくりしました。仁木団地を見学しましたが、私のような高齢者に近いと、パニック障害もあり（買い物もできない）3階以上は住めないと思いました。そこ一番福祉サービス必要なところではと疑問に思っています。今ちょうど、引越し先を

探す所ですが、万が一ですがホームレスになったらどうしようと少し不安になっています。ヘルパーさんが人手不足のため、私が（ほぼ昼夜逆転の）睡眠障害であった（午後3時から）時間がとれなくて、死活問題なので仕方なく無理矢理合わせて起きていることも多いので、何だかなあとは思っています。通院介助はあきらめて、便利屋さんになりました。ヘルパーさん、がんばってくれているので、罪悪感すごくて（一回しんどくて途中で引き返してしまった）。それでは、ぜひぜひご検討よろしくお願ひいたします。

- ・ ヘルパー事業所のサービス内容について。夏期は、草取りが大変なので、手伝ってほしい。冬期は、灯油が必要（特に風呂場）なので、灯油買いも認めてほしい。
- ・ 医療費が無料で助かります。
- ・ 一生懸命仕事探しながら、毎日がんばっている人間がバカを見るシステム。生活保護でギャンブル、車、タバコ、酒、外食、これらが勝ち組。なぜこのような状況なのか知りたい。また、どうしてこうなっているのか原因をとことん追求していただきたいと思っています。
- ・ 岡崎は私の生まれ育ったまちで、ここに暮らしていることはとても幸せで誇りに思っています。物理的に豊かになることも大事ですが、人間の心の方が大きいです。障害があっても、健常者より優れていることがあるかもしれません。お互い相手を認め合ってみてはいかがでしょうか。
- ・ 岡崎市の福祉は他の県より遅れていると考えています（相談窓口の方も言っていました）。形式上でも、福祉ではなく、当事者目線で今一度福祉とは何なのかを考えてほしいと考えています。福祉は財源が必要になります。今後、高齢化が進めばもっと必要になってきます。現市長の箱物建設でテープカット、朝にニュースか新聞で取り上げられるというようなことをやめてもらえれば、財源は確保できるのではないのでしょうか。市長の名誉欲のために財源を使うことはいかかなものかと思います。
- ・ 家族ですが、身のまわりに必要な物が出てきます。等級が低いので、見出しが多くなってきます。もう少し考えていただきたいです。
- ・ 介護のため、60才で定年して妻を看ていますが、アルツハイマー型の認知症がひどくなり、自分の名前も言えない。周囲もあまり理解ができない2才児ぐらいになってしまって尿、便たれ流しになってしまい、自宅で介護しているのがとてもつらい。自分も精神3級の障害者になってしまったが、床にはってでも介護をしています。施設は高額でとても利用できない、自分も働くことができず、もうじき、貯えもなくなり、最後は、死ぬしかないのかと考えています。生きているのがつらい。
- ・ 外出することが苦痛に感じる人が多いので病院に生活に関する全般をカバーできる人材を置いてほしい。相談しても、将来のお金に関することは、電話してくださいなど、対応できない場合が多い。一つの場所で相談を解決できる場所が近くにほしい。

- ・ 額田センターに設備が整った駐輪場をつくっていただけるとありがたいです。交通手段がないので、自動車免許取得が難しい障がい者の方にも、やさしいまちづくりをよろしく願います。
- ・ 現在、主にハローワークで求人を探していますが、なかなか自分の希望する職業で求人がないので、資格があっても、持て余してしまっています。リモートで働けるような仕組みなどがあると助かります。また、女性の在宅勤務やスキルアップなどの講座はありますが、障害者においてはあまりないので就労移行でももう少し多様なスキルを学べるような仕組みなどがほしいです。また、今の労働環境は結局、健常者と同じようなノルマを求められて、できないと解雇されてしまうのももう少し理解をもって雇用していただきたいです。また、年齢的に年配になったらどう暮らしていくのか不安でもあります。(特に収入や、住む場所など) その点についてどうすればよいか考えていただけるとありがたいです。
- ・ 現在、本当の意味で全市内または全国で障がいのある方が住みやすくなったと結論づけるにはまだまだのように感じられます。しかし、市街地を中心に少しずつではありますが、特性についての理解が進み、共生社会に向けた環境が整いつつあるのかなと思います。岡崎市には10年・20年後も取り組みを続けてほしいです。
- ・ 現在就労継続支援(B型)を受けていますが、せめて工賃を最低賃金まで上げることをしないと、いくら障害年金など扶助を受けても、特にひとり暮らしの場合は生活が成り立たなくなる、と感じています。もっとも、生活が成り立たないので生活保護を受けるというのも本末転倒な気もしますが。
- ・ 公共交通手段の充実。(バスの本数を増やしてほしい。減ってしまい困っています。)
- ・ 今どき、タクシー券よりガソリン券にしてほしい。家族も使用できるからタクシーをガソリン代にしてほしい。
- ・ 市役所の支援について相談したけれど対応がずさんだった。今は他の民間の相談施設を利用していますが、まずは市民が困って相談にきているのだから、きちんと真摯に対応すべきだと思います。改善を強く望みます。市役所の方が障害への理解が不足しているようにも感じることがありました。市全体としてインクルーシブル化を推進しているのであれば、まずは市職員の意識から改善していく必要があるのではないのでしょうか。
- ・ 私の住んでいる所は交通の便が悪い。
- ・ 私はB型就労支援で働いていますが、工賃が時給250円です。ろくに仕事のできない人たちと仕事量はまったく違い負担になっています。世の中は最低賃金が1,500円と言います。1日分の工賃と同じです。意味不明な訓練等給付費代理受領の知らせが来ますが、なぜ本人に支払われないのか? 私は病気もあり、働けるのは週一日です。他に仕事を探すにしても歳だし、B型でがまんするしかありませんが、先日26歳の障がいのある友人が一般就労につき、時給1,500円だそう

です。何故時給 250 円なのでしょう。仕事する気がなくなります。どうか改善していただきたいです。

- ・ 私自身、精神障がい、息子は発達障がい、娘は重度の知的障がいを抱えています。正直、私の場合、生きていくこと自体（自殺願望、希死念慮が強いため）が、困難に感じるときがあります。娘を見て、絶望を感じる時があります。つらいです。母親の私が思うように動けないので、夫に全部負担が回っています。それも申し訳なくて、つらいです。娘は、外の公園や室内遊び場で遊ばせようにも、周りの方の目があって遊ばせづらいです。病院でも、マスクをしてくださいと注意書きされていますが、娘はマスクを取ってしまいます。言葉は通じない子です。そういう面でも、理解されないのが困っています。
- ・ 時給が上がっても事業所が給料出すのが大変だということで何かしらの助けがあるといいと思う。
- ・ 時給を上げてほしいです。
- ・ 次期「障害福祉計画」「障がい者基本計画」を策定のためなので、細かい調査がありましたが、答えを出す利用者＝障害者はあまり考えていないのではと、私（母）は感じました。精神障害なので福祉サービスをあまり使ってこなくて（2005～2025 まで）2025 年 5 月から就労移行を使い始めたところです。知的障害の方、身体障害では早くから利用されていると思います。
- ・ 自分が障がいをもったことによって、気づかなかった周りの配慮、理解が足りないなど感じています。変な人など、言われることがある中、働く場所が少ない。障がいがある人専門で働く場所が必要だと思います。
- ・ 社会福祉について、あまり以前から身近な印象がなかったのですが、病気になってから、重要性を感じ、苦しんでいる方々がたくさんいることを知り、改めて世の中捨てた物じゃないと優しさに触れることができ少し救われたような気がしました。
- ・ 車の運転ができないのでバスで外出しているのですが、数が減ってしまって少し大変です。人手不足だとは思いますが、できたらもう少し増やしてほしいです。
- ・ 就労支援の件で、市役所に行ったが、職員が冷たかった。カウンターに座ったが、職員が出てくるのに、3分は待った。（声かけして、やっと動いた）事務的すぎる態度だったので、岡崎は、冷たいと思った。他の市は、とても優しく笑顔で、対応してくれたし、座る前から、職員さんから、動いて声かけもしてくれた。とにかく岡崎市役所（エレベーター前の部署の職員）は、冷たい。声でも、わかる。面倒くさそうというのが、伝わった。
- ・ 障がいがあっても、なくても、みんな平等に仲良くやっていきたい。
- ・ 障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合うインクルーシブ社会はきれいごとの建前だと思います。様々な人種が共生するアメリカでも人種ごとに派閥ができます。これは見た目だけでなく、遺伝の関係で趣味嗜好等が似てくるからだだと思います。健

常者と障害者においても置かれている環境が違い、わかり合えません。外国人問題の多文化共生では既存の日本社会にイスラムやアジアの文化が入ってくると軋轢や摩擦が生じます。インクルーシブ社会でもなぜ障害者にそんなにリソースを割くのか、なぜ健常者ががまんしなくてはならないのか等必ず軋轢、摩擦が生じます。これらを踏まえると共生は聞こえはいいですが、現実的でなく、住み分けも一つの手です。しかし、障害者を虐殺する、隔離する、断種するのはナチスドイツにつながり、生産性だけが人の価値を図る尺度ではありません。一人ひとりがよりよい社会のために考えなくてはなりません。

- ・ 障がい者であることをクローズにして働いています。オープンにすると、行政上の手続きとか面倒くさいし仕事も見つからない。勤務上において行動を制限されることもあるので、障がい者でも普通に働ける社会になるよう岡崎市としてがんばってください。
- ・ 障がい者に経済的支援をもっと充実させてほしい。
- ・ 障がい者のために理解する資格をつくったらどうでしょうかその資格を持っていることで手当がでるようにすれば理解も進むと思う。福祉サービスを使っていることは、支援員の特に精神障害者の知識が不足していると思う。利用者、本人も知識不足のこともあり自己理解が進んでいないと思う。
- ・ 障がい者年金を早急に増やしてくれることを強く強く強く望む。
- ・ 障がい福祉サービスがわかりにくく、必要な支援にたどり着くのが難しい。もっとわかりやすくしてほしい。家族を頼れない人もいるので、ひとり暮らしでも自立できるような支援をしてほしい。
- ・ 障害者の苦しみ、生きづらさは本人しか理解できません。今後は、優しい理解者が周りに増えていってくれることを望みます。
- ・ 障害者の住みやすい岡崎市の実現を。
- ・ 障害者への偏見を持ってほしくない。今生活している近くのスーパーなど買い物に便利なお店を必要としている。とても不便です。物価がすべて高すぎて生活しづらい毎日です。
- ・ 精神の障害、病気があっても明るい未来が来る社会が訪れますように。
- ・ 精神疾患なので、人との付き合いが難しい。少しでも自分の気に入らないと、暴言、泣いたりします。あと、この不景気でがまんさせることが多く、大変です。(食物欲) 私たちも、年齢、体の不調などあり正直不安です。この先 どのようにすごしたらいいのか。
- ・ 精神障害 1 級は生活にお金がかかりかかります。手当の金額を上げてほしいと何年も思っています。今までいう場所がなかったので今回いわせていただきます。
- ・ 精神障害がありフルタイムが厳しいため、パートタイムの障害者雇用を増やしてほしい。グループホームに関しても、一人一室のアパート型を岡崎市にもつくってほしいです。市役所での手続

きなどもネットからできるようになってほしい。

- ・ 精神障害である自分にとっては日常生活で大きく困っていることはあまりなかったのですが、身体障害の方や、おそらく一般の方にとっても、岡崎の道路整備に関しては不便を感じる点が少なくないのではないかと考えています。
- ・ 精神病の人は、友人ができにくい人とかいるので、こども食堂のような所で自由に参加し、健常者の人の理解の中、コミュニケーションの場、人を提供してほしい。
- ・ うつ病を努力や根性で治ると思っている方ばかり。
- ・ 総合失調症に対する治療薬が開発されてほしい。
- ・ 草や木で毎年困っているので（業者に支払うお金もない）、カットして片づけてもらえたらどれだけありがたいかと思います。
- ・ 直接関係のある事柄ではないが、2022年11月の事件以降、岡崎警察署が信用できなくなってしまい、免許を更新に行く時も恐怖を感じています。
- ・ 道路など不便で整備してほしい。
- ・ 独身で親も兄弟も亡くなりました。孤独死が心配です。死後の事務手続きとかよくわかりません。
- ・ 年金、毎月振り込んでほしい。
- ・ 福祉サービスをどこの事業所にしようかと決める際に、ホームページがない事業所が多く情報を得られないため、利用するのに不安がある。市役所の障がい福祉課や相談支援事業所、病院やサービス事業所と電話だけでなく、チャットでやりとりができるといいなと思う。
- ・ 福祉サービス全体に感じていることですが、身体障害者へのサービスが充実していく反面、精神障害者へのサービス等はまだまだだと感じる人が多いです。就職面で、精神障害者は門前払いされることも少なくありません。今後のサービス充実を精神障害者にも求めたいと感じています。
- ・ 訪問介護に来てくださる方々と話すことで楽しいし、落ち着きます。
- ・ 北欧やオランダ等の福祉について調べたことのある身として、日本の福祉には「頭がかたい」、「机上の空論」、「人間をモノのように規格にあてはめて融通がきかない」、「制度の谷間に落ち込んだ人々がどこからも救われない」とよいイメージがありません。人権教育をしてこなかったせいでしょうか。日本の政治情勢や世界情勢を見るに、今後悪くなる予想しかできません。どうかT4作戦のようなことが再来しないようにと祈るばかりです。
- ・ 名古屋市と比べると、岡崎の福祉サービスは利用できるところが少なすぎます。名古屋市に引っ越してきたらどうですかと名古屋の支援事業所の方に言われています。名古屋の病院に通院するのも楽になりますし、言いたいことづくめですが、両親のお墓が岡崎にありますし、そう簡単な話でもありません。岡崎市内で円滑に利用できる福祉サービスを増やしてもらうしか、今のところ手立てがないのが現状です。

- ・ 問 25 で書いたタクシーの件は、僕だけにあったことではなく、知っている人にも起きたできことなので、常態化していると思う。その人たちも、人に危害を加えるような人ではなく、普通の人と変わらないような人たちなので、とても傷ついていると思う。僕も最初、そんなことあるのかと思っていたが、実際に自分にも起きた。あと、映画館の話の中でも記したが、助け合ってやって行けたら、障がいを持っている側からも「やっていけるのではないか」と希望を持つことができる。小さな光が大切なこともあると思う。また、このようなアンケートの仕組みがあるのもとてもよいことだと思う。このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。
- ・ 葉の関係で車を運転できないから移動に困っています。買い物に行きたくても近くにお店があまりなくて困っています。必要なものはほぼネットで頼まざるをえないです。
- ・ 利用者の4時間以下の利用のほうが事業所の利益になっている。それが社会保障費を圧迫しているという理由で、財務省がB型事業所に対する予算を削減しようとしています。やめたほうがよいです。障害などで1日2時間しか作業できない方もいらっしゃいます。それに支援員さんなどの給料が減ってしまいます。利用者さんと作業について話をしたことがあるのですが、作業が楽しい、生きがいだと言っていたのが印象的でした。そういった場を守っていただけないでしょうか。
- ・ うつ病なのに、エレベーターなしの5階に入居って、配慮なさすぎではないのでは。

○特定医療費（指定難病）受給者証等所持者

- ・ 7月に提出した特定医療費指定難病受給者証がまだ届かない。市に電話(2度)しても、もう少しお待ちくださいと言われるばかりです。9月末で切れています。どうなっているのか詳しく知りたいです。
- ・ アンケートに適切に答えられたかどうかはわからないけど、福祉に関係している方々、医療に関係する方々にはとても感謝しています。親身になって話を聞いてくださり、ありがたいです。病院等に行く時の交通手段がもっと充実できたらと思っています。
- ・ 介護保険料の用途を定期的に具体的に市政だより等に明示していただきたい。しているというのであれば、周知徹底するための方法を教えていただきたい。老人が目に留めて理解できる方法。
- ・ 指定難病の特定医療費（指定難病）受給者証は持っているんですけど、障害者手帳は持っていないです。指定難病と障害者の対応を比べると差がありすぎます。難病は一生治らない病気で、この5年間つらかったです。対応を考えてほしいです。
- ・ 難病指定を受けていますが、父が身体障害1級で介護する側でもあります。今回は私宛だったので私自身のことを回答しましたが、介護する側の立場で考えると、もっともっと丸印をつけたいところがたくさんありました。またそんなアンケートをしていただけたらと思います。こういう

ことをちゃんと行ってくれる岡崎市大好きです。ありがとうございました。

- ・ もうけ主義の本来なら不用な治療や投薬等を根本的に減らす取り組み、正しい知識と身体を健康的に保つことの推進、義務化することで本当に必要なところへ人材を回せる。医者や官僚のような上級国民がもうかるための仕組みをなくすとは思えないが、不必要なところに人と金が使われて不足しているのが現実。もうけ主義をやめて、健康主義な世の中になることを望みます。
- ・ 家族3人とも障害者です。日常の生活はお互いに気づかいをしながら生活していますが、これから先は不安があります。
- ・ 今は障害はないですが、いろいろなサービス、支援があることを知りました。昔ながらの個人商店がなくなり、年とともに不便になり、買い物の苦勞を感じるこの頃です。
- ・ 精神的に障害のある人が普通に働ける世の中になるとよいです。
- ・ 漠然とした言葉になりますが、「不安」を減らせると、障がいを持つ方たちは幸せに近づけると思います。
- ・ 岡崎に、刈谷のバッティングセンターのようなスポーツ施設をつくってほしい。
- ・ このような機会をいただきありがとうございました。自身の生活が見える化し、見つめ直すいい機会となりました。
- ・ 透析をしているのですが、非常時に透析ができる場所があるか心配です。
- ・ 筋痛性脳脊髄炎とその関連疾患について、まずは、役所や福祉関係の方々にきちんと理解をしてほしいです。福祉や医療にたどり着けていない患者（子どもから大人まで）がいます。市役所や社協で相談をしても「わからない」ですまされたり、何も支援できないと言われてたり、適当にあしらわれたり、心ない対応を受けたりしています。補装具費の申請でもとても失礼な言動を受けました。私の状態は障害ではなく単なる症状だそうです。障害者手帳を持っているのにも関わらず。無知や無理解は容易に差別に結びつきます。迅速な対応を強く求めます。
- ・ 在宅介護に言語療法士がいない。発語を促すりハビリをしたいので増やしてほしい。現在、旦那がいる施設では、5人に対して職員が1人体制のため、職員の教育が行き届かない。
- ・ 84歳になりました。娘が知的障がいでお世話になり二人で助け合って生活しています。大きなことを臨むより、今の生活を大事にしていきたいと思っています。それができなくなったら助けたいと思っています。よろしくお願いします。

○障がい者手帳等複数所持者

- ・ いつも障がい者の子がお世話になりありがとうございます。紙おむつ、訪問医療などありがとうございます。親が年を取り、病院も不安な時もあり助かります。市役所、福祉課の皆さんも、親切に対応してくださりありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。親もこの

アンケートでもっと勉強しないといけないと反省しています。

- ・ いろいろなサービスを利用させていただき、感謝しております。親が高齢になり、免許証返納等で移動が困難になり、外出の機会が減り寂しいです。公共の交通機関の利用も、手続きが介助者等でなかなか利用しづらいです。
- ・ タクシー券は使用できる時がない。将来生活していけるか心配。特に金銭面。一応回答しましたが、本人の意志を尊重して回答とありますが、知的障がいがあり、判断できないので無理です。それができるなら苦労しません。
- ・ 介護施設へ通えるのも自立支援費を補助していただいているおかげです。本人もよろこんで通えているので、皆様には心より感謝しております。
- ・ 視覚障害者にとっては以前よりも困ることが多くなっている。例えば、マイナンバーカードによる医療機関への受付ができない。いろいろな場所において、整理券を取らなくてはならない所とか機械で精算する所とか、障害者が一人で行動できない所が増えている。時代の流れで仕方ないとはいえ、困ることが多くなっている。
- ・ 現在1か月8回の訪問入浴をお世話になっていますが、毎週2回の入浴を切に望みます。(1か月5週ある時は、1週間入浴がありません。)
- ・ 現在、子どもの親として、とりあえず元気で何とか生活していますが、年老いて子どもと一緒に生活できなくなった場合(老後)、どのようにこの子たちが暮らして行くことができるのかとても心配です。
- ・ 視覚障がいがあり、近所の交差点は音が出るようにしてもらえましたが、音が出ない信号の所は行動しにくい です。JR 岡崎駅の駅員さんに介助をお願いしますが、点字ブロックの上に立たされて、電車が近くにきたら危ないと思いました。
- ・ 就労継続支援(B型)で月～金の5日間働いていますが、時給149円程度です。その月の出来高で多少変わりますが、一般社会人に話すと「ありえない！マジカ！」という反応がかえってきます。仕事は単純だったり、完ぺきにはできないけど、1日一生懸命働いています。時給150円というのはどう思われますか。半年ごとにモニタリングがありますが、わずか半年で目標や努力点が変わることはとても難しいです。1年か2年に一度というのが現実的です。仕事の出来高は、去年の同月とくらべると減っています。全体の 仕事量が少なくなっているからです。去年までやっていた仕事が今年からはなくなっているということがあります。仕事がなくなったら、時給のことなどいってられません。安くても働けるほうがよいです。
- ・ 親の亡きあと、入所施設、介護保険施設などを希望します。
- ・ 世間では利用者をいじめたり、暴力をふるったり、搾取したりなどのニュースが度々報道され、なかなか安心して施設に入れることができないでいます。しかし、介助する私たち父母もだんだ

ん高齢化し、介助ができなくなった時に、安心して預けることのできるグループホームや福祉施設がほしいです。今通っている●●では、そういうことが一切ないので、安心して暮らせる施設を建てていただけたらとてもうれしいです。

- ・ 相談支援事業所がどのようなお仕事をさせているのかよくわかりません。年に1～2回計画書（いつも同じ）を持ってきてサインだけです。お忙しいのは理解できますが、何のための相談なのかなあといつも思います。介護保険料のケアマネのようにもっと本人を理解しようとされないのでしょうか。（母の気持ち）
- ・ 働きながら(母子)息子の病院(リハビリ、内科、耳鼻科、心臓、歯医者、整形、車いすの修理)に行くのに休んだり、半休とったりと大変です。今後は胃ろうや呼吸器など話が出ているなか、働らかなければいけない。有休だけでなく、病院のための休みや兄弟姉妹のための(学校行事による)休みを休みやすいようにしてほしい。
- ・ ●●に入所施設を建ててほしいです。
- ・ 家賃が高いので市営に応募した。
- ・ 自立支援に加入して、とても助かっています。保険外の治療等を支援していただきたいです。(例えば、ホルモン補充-更年期等、注射等)。毎日緊張して、体が全体痛みあり、リハビリしても治療が難しい状況です。一日中、不安のことをだれかに相談するのは難しいです。カウンセリング等を増やしてほしいです。特に夜です。話せる電話相談が増えしてほしいです。障がいの方はメンタルとフィジカルを連動しているため、お薬を飲んでも治りません。何かスポーツに与えればチャンスあれば、ありがたいです。例えば、スポーツクラブで使える割引、クーポン等。どうもありがとうございました。
- ・ ストーマ値上がり支給額検討してほしい。親が高齢、先が心配。
- ・ 移動支援を利用したいと思っても介助してくれる人がいない。現在利用しているヘルパーさんが支援時間ならOKだが、長時間や遠出をしたくても費用がかかり負担だし、介助者が見つからない。日常は家族(母)がしてくれるが、母もだんだんと年齢がとなったときタクシー等を利用になると思うが、半額負担となると金銭的にも負担になり外出ができない。車いすでも乗れるバスツアー等で遠出をしたいと思う。例えばディズニーランドとか、外出先でもバリアフリー化がされていないと外出も難しいと思う。先日の岡崎公園のイベントにしても車いすで行く人は難しい砂地、段差等。まずは外出しやすいバリアフリー化、介助者(ヘルパーさん)の増員、金銭的負担を考える。タクシー券の利用についても、利用したくても半額負担は年金生活者には負担である。確かに子育て支援も必要だが、これから高齢化になっていくのにどう考え支援をしてくれるのか?年金生活者が増えていくのにどう支援してくれるのか?もっと障がい者の目線で考え、支援してくれることを願います。障がい者がペットと生活する場ができるとうれしいと思う。市内には

ペット OK の賃貸物件が少ない。あっても高額で利用ができない。アニマルセラピーで利用できる公共の場。空きの市営住宅への障がい者利用を考える。

- ・ 職場での配慮の教育を一人ひとり教育してほしい。障がい者に対して働きたくても、精神的に追い詰められると、身体が反応して、下痢や頭が痛くなり、家から出られない時もあります。それで会社が首になったことが幾度かありました。働かないと生活ができないので何とかしてほしいです。
- ・ 低酸素脳症により寝たきりでほとんどの質問が当てはまらない。気切の取り扱いをすべての人に行ってほしい。(バンドの交換) ととても困っています。どこにも行けません。行政ももう少し介護者の身になってください。本当にお願ひいたします。
- ・ 一般企業に障害者雇用で働くことになっても、社長や上司、または、障害者担当の社員等はある程度の障害に対する知識や理解があるものの、実際に同じ現場で働く上司や社員たちにはまったく知識や理解がない場合が多く、結果的に退職に追い込まれることもあった。現場の社員の障害者に対する教育やそれに伴う補助金のシステム等ができるとうれしい。また、福祉サービス事業所の職員さんたちは、人手不足と低賃金により常に疲弊されている。何とか給与の水準が上がるような改革をお願いしたい(障害者へのサービス向上のため)。
- ・ 岡崎をもっと広くしたい。お店いっぱいつくってほしい。いろいろなお店に行きたい。スーパーが足りない。近くに便利な所がほしい。
- ・ 健聴者の方ももっと障害者のことを理解してほしいし、わかってほしい。コミュニケーションが苦手な方に対して優しく接してほしいです。過去にそういう経験をしているので、そういうことがないようにしてほしいです。差別や侮辱は絶対にダメ。平等にしたい。障害を持っている方はみんなつらいから、その気持ち理解してほしいです。
- ・ 40代中期ごろ「●●」という福祉施設に単年お世話になったことがあります。就労支援ということでいろいろな作業等をさせてもらいました。利用者はほとんど私より年下の方ばかりで、重度の方もいました。その重度の利用者の方に対する職員さんの対応がとてもひどいものでした。彼らより軽度の障害者ではありましたが、時としてありえない「理不尽」な対応をされたり、企業に提出する書類等のアドバイスなど全くのセミプロの方々ばかりで逆に「ウソだろ」とショックを受け途方にくれました。時には私に対する「デリカシー」のない行動、言動等がありました。困った時など相談相手もおらず悩みました。致命的だったのは職員全体がすべて「女性」ばかりで男性は一人しかいませんでした。これだけはお願ひしたい、理解してほしいのは、障害者という人々は自分で主張することができない人がいるということを知ってほしいと思います。そして障害者の言うことをじっくり聞いてほしいということです。職員さんもたしかに大変だということぐらいはわかりますが、あまりにも「プロ」らしくないことばかりです。頭ごなしに命令す

るのはいかなるものかと思えます。それから、これは不可なのかもしれませんが、施設内に防犯カメラを設置するよう、お願いしたいです。それがあれば職員さんや利用者の行動がよいか悪いか判断ができるはずです。長くなりましたが、今後の参考にしていただけるよう、よろしくお願い致します。

- 鉄道を利用するのに割引があって、車に割引がないのはとても不便に感じます。特に車に関わる負担額が鉄道より大きく感じます。車は生活するのに必要です。車に関わる税金の負担軽減、高速道路を利用する時の半額など、少しでも車を維持しやすい制度を考えていただければと思います。

2. 障がい児

○障がい者手帳所持者

- ・ 小学校に入学してから、子どもの不得意や発達の凸凹に気付き、保護者が不安定になり、本来受けられるはずの障がい福祉サービスを受けられなかったり、受けるタイミングが遅くなってしまいうケースが多いです。1才半・3才健診などで「発達障がいとは何か」、「そんな時〇〇にまず相談しましょう」など、保護者すべてに「知識」を増やすような案内がほしいです。子どもたちすべてに平等な福祉サービスが受けられるような社会になってほしいです。ありがとうございました。
- ・ 申請手続き、福祉サービス一覧の電子化。マイナンバーから情報を吸い上げて毎年の確認書類をなくしてほしい。日常生活用具、装具などの決定通知書はメールで簡略化。ペーパーレス。
- ・ 車いすで移動しやすい道路や横断歩道が必要。薬局や郵便局、役所はスロープを整備してほしい。24時間営業のコンビニも広いスペースを確保してほしい。夜道の（外を移動する場合）街灯も増やしてほしい。防災の避難場所、車いすで利用できる場所をつくってほしい。
- ・ 15歳ですが、小児科の先生が病気の状態をわかってくれていて、20歳まで通院してよいと言ってくれました。ありがたいです。
- ・ PT、OT、ST等専門職がもっと学校に入り、一人ひとりに合わせた教育に取り組んだ方がよい。岡崎を日本の中で一番福祉の分野で先進的な地域にしてください。働く場所も子どものこづかい程度の賃金ではなく、一人で生きていけるような給与をあげてください。
- ・ アジア大会はやらずに福祉に予算を回してください。
- ・ いつも市役所の方や福祉の方、事業所の方、関わることになった方たちみんな優しくわかりやすい説明をしてくれたり、声をかけやすい雰囲気です。あなたたちのお陰で前向きになれています。大変な仕事と思いますが、これからもよろしくお願いします。
- ・ インクルーシブ社会と言っても、まだまだ障害がある子が学べる場や就職する場が少ないと思う。軽度の障害の子が学べる場（高校）がほしい。支援学校と通常の高校の間の高校がほしい。市の職員として、一般就労（障害者枠）を増やしてほしい。
- ・ おかざえもんのパラ芸術祭のような機会が増えたらうれしいので、おかざえもんにはがんばってほしいです。
- ・ このアンケートって意味ありますか。
- ・ このようなアンケートをとってくれることだけでも、岡崎市が障害者のために暮らしやすいまちづくりを考えてくれていると感じられ、前向きな気持ちになりました。
- ・ ひとり親の申請が岡崎では通らなかった（父が精神）。西尾市、名古屋市では通ったのに。

- ・ みどりファイルを持っているが、どこの事業所に行っても新たに発達調査票などを書くことになり、あまりうまく活用されていない。子どもの成長もあって書く内容が変わることもあり、子どものことを全く知らない人に今子どもができること、心配なことについて伝えるための重要な書類だとわかっているが、被っている内容も多く、何枚も書類を書くのが大変に感じることもある。
- ・ そよかぜ相談や放課後等デイサービスの見学、小学校の教育相談などでも、こちらから言わないとみどりファイルを持っているか聞かれることも見られることもなかったもので、全体的にみどりファイルが浸透していないように感じます。
- ・ 岡崎市のタクシー補助金券は、精神手帳2級保持者に対しては配布されているが3級の方にはない。外出して、より購買意欲や積極的な活動をする（しようとする）のは3級の方のほうが多い気がするので3級の方にも配布してより地域の経済循環をよくして欲しい。
- ・ 岡崎市の福祉には本当に感謝しています。ただ、未就園児の時が一番大変だったので、その時に支援がほしかったです。公園や遊び場が息子にとって危険で（自閉症と多動ですぐ脱出しようとする）息子が起きている時は常に気が休まらなかったです。他の多動のある子どももそんな感じで、ママはいつも子どもを追いかけて回して疲れた顔をしていました。すぐに車道や駐車場に出られない公園（脱出できない柵で囲まれ、出入り口が1、2個のみ）やめばえの遊戯室のような室内遊び場（扉に大人しか届かない鍵があるなど）がほしかったです。今後、公園や室内遊び場をつくる時、簡単に脱出できないつくりにしてくださると、発達障害の未就園児の親にとって助かるかもしれません。
- ・ 岡崎市は人口が多いですが、障害者に対する支援が少ないと思います。まず、放課後等デイサービスに関する情報がとても少なく、探すのに苦労しました。また、障害者のための施設も北の方に多く南の方（六ツ美地域）に少ないので、とても遠く不便です。また、特別支援高等学校も近くにないので、通学もとても時間がかかりお金もかかります。
- ・ 岡崎市内の地域格差が大き過ぎて、他の地方から来た者には戸惑いしかなく暮らしづらい。施設やサービスも南エリアに集中し、北部で暮らす車を運転できない者にとって交通の便が悪過ぎる。
- ・ 岡崎市役所障がい福祉課のみなさんには、いつも書類の管理や手続きの案内など、本当にお世話になっています。いつもありがとうございます。子どもが大きくなるにつれ、今までは考えないようにしていた将来について不安が大きくなって、正直今は毎日とてもつらいです。今さらなぜ自分の子が、障がいがないければ、と考えてばかりです。放課後等デイサービスも増えていますが、支援級の子を受け入れるところばかりで、支援学校の子は受け入れがありません。そこでも差別を感じます。●●という放デイに通っていた友人の子は、支援学校で手がかりすぎるという理由でやめさせられました。必要な子や親が必要な支援を受けられるようになってほしいです。
- ・ 岡崎東部に事業所、放課後等デイサービスがほとんどない。

- ・ ●●の体育館のエアコンを台数増やしてほしい。広さとエアコンの規模が合っていない。夏場が暑い。
- ・ 家庭でマイナスなことで気持ちが乱れやすく、母子と二人で暇をうまく埋められずに、父親の帰りが遅いとしつこく母親に直接と父親にメールや電話で訴える毎日。スーパーや服屋には、感覚過敏で脳が疲れやすく気軽に行けない。学校や普通級の子とプライベートで遊ぶ環境では気を張ってしまい、緊張しやすく疲れやすい。家庭で気持ちを整えることが必要で、アニメや動画を見て夜寝るのが遅くなり、夜中に母親が食べ物を用意することが多い。寝るのが怖い。物を買うことで気持ちを整えるので改善したい。肥満や猫背の問題で病院に温かく柔軟に対応してほしい。長期休暇は暇になり、埋めるのが難しい。デイケアやデイサービスで曜日や時間が決まっていると利用しづらい。気の合う子がいないと利用したくないそうです。学習が大幅に遅れて家で学習することも難しい。何とか上記の困りごとをうまく解決したいです。
- ・ 学校が休みの日、放課後等デイサービスの事業所の利用時間が短く（だいたい 9：30～16：30）両親ともフルタイムで働いていると対応が難しく、障がい児の過ごす居場所がない。日中一時支援の事業所を増やしてほしい。財政事情により今あるサービスが利用できなくなるようなことがないようにしてほしい。
- ・ 学校を卒業した後も社会に出られるように指導してくれる場所をもう少し増やしてほしい。
- ・ 学校を卒業後（高校を卒業後）いっきに福祉サービスが減るイメージがあります。就労福祉サービスは時間が短いし、日中一時支援も近くになかったりして、なかなか親世代が働けなかったりします。お金の支援というのにも限りがあると思うので、そういうことを考えると通常の時間が学校くらいの時間から PM8:30（9：00）くらいから PM5 時頃までみってくれる所がもっとあるとありがたいです。
- ・ 虐待防止のためにカメラ（動画、音声）の設置を全施設（福祉系）にお願いをしたい。抑止力にもなるし、コミュニケーションが苦手な方が困っていることを外部に発信できるようにしてほしい（証拠にもなるので）。
- ・ 健常児よりもお金がかかるため、支援金の規制をもっとゆるくして障がいのある子どもたちに負担してあげてほしい。大人になってからもお金がないとその子が生きづらくなってしまう。障がい年金も厳しくなっていると聞くので、もっと支援してください。
- ・ 現状学校を卒業した後の選択肢が 1 か所しか選べない（福祉サービス利用の場合）ことに不安をかんじる。例えば、生活介護と B 型を併用できる、また、複数の B 型を選択できるなどの制度に多様性を持たせてほしい。重度の子が生活介護以外にも居場所を持てるように、障害が軽い子ばかりが求められるような社会にはなってほしくないと思う。福祉サービスの充実のことです。
- ・ 交通ルールを教えてはいますが、たまに通学の際に横断歩道を渡っている時にじりじり進んで来

たり、後ろすれすれに走行して行く車があり子どもが焦ったり驚いたりしてしまいます。もし後ろに下がったらひかれてしまうこともあります。パニックを起こすと危険な行動をするかもしれませんので、知った方は交通ルールを守って運転してほしいです。

- ・ 今、支援学校に入れず、学区の小学校の支援級に通う子が増えている。教員だけでなく、子どもの障害によっては保育士を置いてほしい。保育面に近い支援を要している子もいる。また、勉強の遅れのある子どもと、知的障害の子を同等にしないでほしい。教育の充実が図れてないことによって、結果的に支援級が圧迫を受けている。ADHD で普通級では見られないからと、支援級に回されるが、支援級の教員、児童に負担が回されているだけで、解決していない。教育面の充実が、学校での福祉への充実になると思う。また教育と福祉の壁は常々感じる。障害のある子が増える今、教育と福祉はつながっていかなくてはならないと思う。壁をつくっているのは、教育側である。よい関係を築けるモデルケースがあればいいと思う。
- ・ 今の時代、物価高騰、経済的にも困難な家庭が増えていると思います。なのに、なぜ紙オムツ代や日常生活用具など制限の金額がずっと同じで変わらないのですか。それを、市の障害の窓口の職員に話したら、うちの課ではないとあしらわれ、取り持ってもらえず、どこへ聞けばよいのかわからないし、対応してもらえませんでした。本当に困っているのに、岡崎市は障害者のことを真剣に考えてくれないんだなと思います。慌ただしく事務仕事をこなしているだけで、対応も無愛想で福祉に対しての配慮が欠けているようにも思います。岡崎市は、これでは福祉に対して何も変わらないような気がするし、子ども、障害者の将来が不安になりますね。
- ・ 今は療育手帳を支給してもらえているため、障がい児をつれて外出するのも少し気が楽につれていけることもある(チケット代や入園料が無料なので何があってもすぐに退場することに躊躇がない)。しかし、DQの数字で療育手帳の可否が決まってしまうと、DQの数字が伸びても、特性が強い場合、手帳がなくなってしまうことがつらい。(特別児童手当もなくなるので、それでも療育への送迎などは必要でお金もかかるのに、働けない)。
- ・ 今回のアンケート、無作為抽出とありましたが、同家庭内で2通届きました。もし可能ならば同家庭内には1通にできるように、そして、他の方にそのもう1通は届くようにしていただけると、より多くの意見などが入ってくると思いました。
- ・ 今後の将来についてよくわからない。モデルケースなど、医療機関で示せるといい。医者は慎重なので不確かなことは言わないのがもどかしい。
- ・ 災害時の障害者の受入態勢がどうなっているのか知りたいです。避難所ではとても過ごせません。手帳があれば近くの福祉避難所を利用できるなど、具体的なリストアップしたものがあればわかりやすいかなと思います。YouTubeチャンネル登録しています。また、いろいろな形で発信していただけると、ありがたいです。

- 子育て支援なども、どうしても健常児対応であったり、遊ぶ所も少なく感じる。少数ではあるし、全部は難しくとも一定数いること、相手にも気持ちがあることなど、学校でも知る機会があってもいいと思う。無理に手助けしてほしいわけではなく、いろいろな困りごとがあることをまず知ってほしい。ただチラシを配ったり、イベントをするのではなく、大人から子どもまで、自分でよく考えることが大事かと思う。
- 子どもが障がい者手帳を手に取り 14 年が経つが、事業者は増えてよるこばしいことだが本当にニーズに合った事業所が増えているかといえばそうではなく、比較的軽度な障がい児ほど恩恵を受けやすいとしか思えない。我が子は重度でも軽度でもなくできる部分とできない部分でうまくマッチする所が見つからなかったことが多々ある。そのことは市役所での面談や相談支援でも散々伝えてきたが、本当に伝わっているのか、非常に残念、無念。市の面談無意味。こんなアンケートをとらなくてもいくらでも意見はあがっているはずでは。岡崎市には特に何の期待もしてない。今利用できる施設をがまんして使うだけのこと。そして、そのがまんのしわ寄せは親に戻ってくるだけ。下肢3級でも尿意を感じなければオムツは外せないのに紙オムツ支給されないのはおかしくないか。
- 子どもに十分な療養を受けさせるためにがんばってはいるが、保育園に通うために仕事をしながらの送迎はしんどいと感じることが多い。児童発達支援の職員でも、質の違いや子どもに対する接し方など、場所によっては疑問に感じることもあるので、しっかりと市で管理してほしい。小学校にも療養のことをよく理解している先生がいてくれると、親としては安心だと思う。普通級の先生などはあまり理解していない人もいると感じた。将来、自立して生活できるよう教育や進路、就職を充実させてほしい。
- 支援が必要そうな子が通える場所が送迎バス等で通えるような場所や親への理解を求められる時が多くあってもよい気がします。グレーゾーンでも他害してしまうタイプやおとなしいタイプといろいろありますが、それを支えられるような人が増えたり、親が子に興味を持っていろいろとしてあげられるような、子の特性を受け入れられるような環境と支援が必要で、いろいろな覚悟をもって結婚する前の検査とか、そういうことを頭に入れる機会が必要な気がします。
- 支援についての所得制限をなくす、または、細かい段階にしてほしい。
- 子どもが身体障害児なのですが、皆さん歳を重ねることで、身体障害を持つ方も増えるし、事故や病気で障がい者になる可能性もあるので、どんな人に出会っても『自分ごとのように』考えられたらよいと思う。どこかの地域でやっていて、テレビ番組で見たことあるのですが、幼稚園や保育所と同じ敷地に老人ホームや福祉施設が混ざって入っていて、それぞれが存在価値を感じられる環境になっていた。合理的配慮が自然と生まれていた。
- 社会や経済状況が厳しくなると、弱者に対する偏見やいじめが増えると思っています。苦しい、

弱い立場にいる人に優しい社会、まちになってほしいと思います。

- ・ 手帳更新（発行）の都度、暮らしやすくなる情報や利用できるサービスが確認できるような情報提供をしてほしい。
- ・ 所得制限世帯なので、給付がないし、放課後等デイサービスも利用回数を抑えて使っています。税金を多く納めることはいいのですが、せめて他の方と同じようにサービスを受けたいと思います。
- ・ 女性用のグループホームがあればいいですね。特例子会社が岡崎があればいいのに。身障向けばかり…。名古屋障害者スポーツセンターみたいなプール・体育館・ジム、職員が障害に理解がある場がほしいです。特にプール。幼児から高齢までケガのリスクがない運動って水泳、いいと思うんですけど。民間団体なので市は関係ないのですが、障害者向けセミナー・教室等でメンターの人が●●やっている人が混ざっている所があって断りづらいし。
- ・ 小学生になり身長も伸び体力も出てきて、病院での予防接種が夫と私と病院の看護師さんでも困難になってきた。年に1回でもよいので障害者の方だけを集めた集団予防接種とかできないでしょうか。同じ感じで暴れたり、泣いたり、お互いさまの気持ちで安心して接種に行けますので。
- ・ 小学生になる時に放課後等デイサービスを探して6か所見学に行きましたが全く空きがなく豊川の施設を利用しています。送迎で断られることも多く大変困っています。放課後等デイサービスについて施設を増やしたり利用しやすい環境になるといいなと思います。収入に関しての制限ですが、特別児童扶養手当、障害児福祉手当ももらえず、放課後等デイサービス利用料も上限が3万超えです。昨今の情勢から賃金が上がっても手取りは増えず家計を圧迫しています。昔から支給時の所得制限の基準は変わってないと思いますので、ぜひ市として支援していただきたく、お願いします。
- ・ 小中学校の支援級に、特別支援教育に関する専門科目を履修した専門性のある先生を増やしてほしい。年々支援級の子ども数は増えていて、教室も足りません。先生の数も足りず、ギリギリの状態です。普通級も含めて教員の採用数を増やし、支援級に専門性のある先生を増やしてください。中学でも、小学校のように個人の能力に見合ったプリント等、配慮がほしいです。子どもが通う予定の中学は、そのようなことがあまり期待できず、進級させるのが不安で仕方ありません。
- ・ 障がいという言葉が好きではありません。もっとチャレンジドという言葉が認知されたいなと思います。ヘルプマークみたいに少し発達がゆっくりな子たちがつけられるようなマークがあれば、周りの目も少し気にせずに出かけられるなと思います。何回注意しても指示が通りにくい子（大きな声を出してしまう、走ってしまう、さわってしまうなど）も暖かい目で見てもらえたら気が少し楽になります。

- ・ 障がい者は、避難所にたくさんの人がいると、怖くて入れません。(たくさんの人の声、音が苦手) パニックになり、他の方たちの迷惑になってしまうのがあり、避難できないので、災害があった時、どうしたらよいかとても心配です。障がい者とその家族が安心して避難できる場所をつくってほしいです。
- ・ 障がい者専用の公園があるといいな。車いすの子、発達障害の子が周りを気にせず、叱らず、伸びのびと遊ばせてあげて、謝らず(これまで謝ってばかりだったので)、屋根があつて、お天気も気にせず、みんなの理解があつて親同士の交流も生まれる公園が理想。インクルーシブ公園もいいけど、健常者に遠慮がちになりそう。
- ・ 障害がある子どもは親なき後、困ることがあると思う。市役所などに行かなくても、学校など身近な場所で高校卒業後、困ったらどうすべきかを教えてほしい。
- ・ 障害のある子どもの学校を増やしてほしい。収入制限があるのは仕方ないですが、ギリギリの所で受けとれない。家庭で、子どもが多いときびしいこともあります。子どもの人数で制限を変えていただきたいです。
- ・ 障害のある方が相談できる事業所等をもっと明確にした方がよいと思います。周りにどこに相談したらよいかわからない人が多いため。
- ・ 障害を持つ子の家族に対しての支援がほしい。働きたくても通院があると難しい。
- ・ 障害を持つ子どもにとって放課後等デイサービスは学校以外でいろいろな人とかかわり成長できる唯一のサービスです。放課後等デイサービス事業所はどんどん増えていますが、どこも療育、SSTなどの専門性はなく、ただの預かりの場となっており、スタッフの方も資格がなく、障害に理解がない方が多い印象を受けます。事業所を増やすのではなく、本当に放課後等デイサービスを必要としている子どもが、しっかりとサービス、療育を受けられるようになってもらいたいです。何か月も前に期限が切れている支援計画書にサインを強制されたり、質の低い事業所が多く、大変困っております。
- ・ 障害を持つ親の集まりなどがあれば教えていただきたいです。
- ・ 障害児を我が子に持ち、障害者の方々への困難や苦しみを初めて知りました。そして、周りの理解や支えも知りました。障害者たちが希望を持てるような、少しでも明るく生きていけるような、そんな社会になったらいいなと思います。私が以前困難なことがあった時、行政に相談に行きました。その時、快く、いろいろな情報を教えてもらいました。とても感謝でした。私も待っているだけではなく、自ら行動して、情報を得て、明るく過ごしていこうと思いました。
- ・ 自分の家だけでなく、遊び場やスーパーなどの買い物も行きやすい場、環境づくりしてほしいです。
- ・ 親、学校、市役所、放課後等デイ、病院、療育、●●相談員等、情報を共有できる場(ミーティ

ングみたいなもの)を設けてほしい。目標、あるべき姿に向けて何を伸ばすか。各自で担当を設け、共有し、専門からみてどうかアドバイスいただいたりしたい。親だけでなく、学校、放課後デイにも指導していただきたい。いつも各施設に面談日がありますが、同じ内容を申し上げることが多く、手間。こういったミーティングで一度で終わらせることができるのではと思ってしまいます。豊川市ではそういったミーティングがあるみたい。アンケートによる聞き取り調査も大切だと思いますが、市役所の方たちが他の市がどのような活動をしているか調べていただき、よりよい仕組みがあるなら取り入れてほしい。

- ・ 親が亡くなった後でも、子どもが幸せに暮らしていけるようなまちづくりをしてほしい。
- ・ 親亡き後も暮らしやすく、障害者もいきいき生活できるよう支援の充実を望みます。
- ・ 身体2級、療育Aにもかかわらず、オムツ代の助成を断られました。金銭面でも負担ですし、体力面でも負担になります。岡崎市は他の市に比べて厳しいといろいろな方から聞いていましたが、その通りだと思いました。
- ・ 生活介護施設が増えても働く人がすぐ辞めている、職員不足を感じます。重度障がい者の支援は大変ですが、日中預かっていただけるだけでとても助かります。施設の職員さんが長く働けるように報酬を高くするとか、市からの補助があればと思います。
- ・ 先日、車いすの方が、東公園内の歩道の段差にタイヤがはまり、タイヤのゴムが外れてしまい直らないまま複数人で車いすを押して帰ることがありました。障害の方がよく利用する公共の施設など、不便があれば気軽に要望を伝えられる窓口があるといいです。
- ・ 前回も同じことを言ったのですが、親の収入で手当が受けられません。逆にサービス利用料も上がりました。子どもに使うための手当でなのでは。将来が不安で貯金してあげたいのにできません。収入制限をやめていただきたい。テレビや物を壊され、いろいろとお金がかかっているのにとっています。一人ひとり、ひと家族ひと家族違い、収入がよくても困っていることも多いので、数字だけで判断してほしくないです。
- ・ 大変なことだと承知の上で書きますが共働きができるような福祉施設の営業時間であってほしいです。差別、偏見をなくすことは大事だと思います。共働きや男女平均と言われていますが生きて行く上で必要な働く場所が障害児、親の介護で理解を得られない。迷惑がられることが本当に悲しいです。
- ・ 滝団地に住んでいますがバスの利用がとても不便に感じています。農遊館に行けるように岩津の方面にもルートがあると助かります。それと反対の方面にげんき館に向かえるようなルートもあると障害者のみならず高齢者も使えてありがたいです。
- ・ 地域生活支援事業について、岡崎市は地市と比べて、地域生活支援事業の内容や予算が乏しいように感じています。支援学校の受入時間や夏休みなど長期休暇の放課後等デイサービスの受入時

間が遅く、子どもを送迎すると仕事の始業時間に間に合いません。学校や放デイが始まる前に早預かりをしていただける日中一時支援や自宅から学校や放デイの移動支援を行っていただけるととても助かります。仕事を続けたくても、今の制度のままではそれが難しい状況です。障がい者本人だけでなく、介助者の支援にも目を向けていただけないでしょうか。支える家族にも夢や人生の目標があります。家族に障がい者がいても夢をあきらめないですむ制度設計をお願いいたします。

- ・ 聴覚障害の補聴器などへの補助はあるが人工内耳への補助がないのが理解できない。
- ・ 当人が大きな声を出したり、パニックを起こしたりするたびに、兄弟がとても大きなストレスを感じています。毎日のようにストレスを感じて家にいることが嫌になってしまう時があります。家から離れたい時に一時的に利用できるシェルターのようなものなどあったらいいなと思います。
- ・ 特に小学校に入学して学校からデイサービス、その後に帰宅だと夕方5時を過ぎてしまう。夕方の支援は人気で奪い合いです。特に入浴が大変で、訪問看護は5時以降の利用はお願いできず、ヘルパーさんや訪問入浴で対応しているが、夕方は人員が少なくてなかなか受けしてもらえない。訪問入浴は月8回までの利用なので回数が足りなく、医療的ケアが多い子はお風呂をがまんするしかない状況です。すべての障害者にとは言いませんが、障害の程度で変えてほしい。障害を手帳の等級で分けることはよいですが、1級でもその中身は違って親の負担も違います。働ける親もいれば、ケアが多くて働けず、それでも国や県、市からの支援は同じで、そういう点の改善をお願いします。
- ・ 特別児童手当の年収制限なくしてほしい。
- ・ 日頃からたくさんご支援をしていただき大変助かっています。引き続きよろしくをお願いします。
- ・ 日中一時預かり事務所を増やして時間も夜19時半までにしてほしい。市役所の手続きの予約制が待てないので、事前にネットで行えるとよい。
- ・ 年々、小中学校の特別支援学級に在籍する子が増えています。同時に普通級の生徒も増えており、教室と先生が足りません。特別支援学級の担任は、特に専門的な教育を大学で受けた方になってもらいたいし、そのような先生でないと一人ひとりの症状や特性に対応しきれません。専門性を持った先生を増やしてほしいです。学区を見直して、生徒数の片寄りを平均化してほしいです。ある小中学校はマンモス校なのに、隣の学区の小中学校は1学年2クラスしかないみたいな片よりをできるだけなくしてほしい。生徒数が多いと特支の子どもたちが落ち着きませんし、手厚いフォローが得にくいので、ぜひ学区の再編成をお願いします。
- ・ 発達障害を持つ子の親も同じような障害を持っているということはよくあるみたいですが。その親に対しての対策もあったらいいなとも思っています。

- ・ 発達障害児が十分な支援で成長し、将来普通に社会人として働いたり生活できる仕組みがあるとよいと思います。支援学校に行くほどではない境界域の子は、いずれ自分の力で道を切り開いて行かなくてはならない。普通の子に比べると、どうしても足りない部分があり、社会の競争で負けてしまう。A型・B型事業所に行くほどでもないし、手当も安すぎて生きていけないので、将来の不安しかない。親亡き後の心配なども。障害者枠での雇用の充実と十分な賃金を保障してほしい。
- ・ 不登校、引きこもりで通所サービスを使いたくても使えず、何かあるといけないので長時間家も空けられず、家族が困る。相談事業所に相談するも、サービスは本人が家から出ないと使用できないものばかりなので解決につながっていない。そのような人や家族が使えるサービスがあるとうれしい。
- ・ 普段自身の子も通う放課後等デイサービスで勤務しており、12月からは民生委員も始めます。普段生活している中で障害児・者に対する理解や助言、支援が非常に少ないと感じています。障害児に対する児童発達支援や放課後等デイサービスの日数が手帳や診断により減らされることや、保護者の緊急時のレスパイトや預け先がないこと、所得制限で特別児童扶養手当が受けられないこと、放課後等デイサービスの利用料金が上がることなど、言い出せばキリがありませんが、障害児・者を抱える保護者は皆、疲弊したり差別や偏見にさらされています。その中で、各々工夫しながら子育てを行っています。特に所得制限や一定の収入を超えると利用料金が上がるというのは、子のために一生懸命働いている保護者に対して、どのような意図があり、そのようにしているのかとお伺いしたいです。岡崎市に限ったことではないですが、もう少し何かできることがあるのではないかと考えます。
- ・ 福祉サービスの利用者負担額が、所得制限により4,600円から37,200円になるのは負担が大きすぎる。障害の程度は変わらず、家族の負担は大きいままなのに、所得制限により利用料が上がってしまい、福祉サービスの利用控えをするしかなく、家族の負担(特に母親)がより大きくなった。母親は仕事をすることもできず、家族の生活が困窮している。
- ・ 物価高騰のため、おむつの値段もかなり上がっています。子どもが成長して大人用のおむつになると、さらに値段が上がります。おむつの支援額を上げてほしい。また、タクシー券を使えない場合は、同じ金額が使える券をもらえるとうれしい。私だったら、その金額をおむつ代にしてもらえると助かる。
- ・ 母子のため、もっと手当をあつくしてほしい。仕事にも限りがある(学校の送迎のため)。
- ・ 放デイの費用が高い。世帯収入によって金額が違うが、うちは限度額37,200円。共働きだが、余裕があるわけではない。子ども2人が放デイに通っていた時期は毎月限度額くらい支払っていた。4,600円の家庭と差がありすぎる。中学の支援級に日本語が話せない外国人の子がいて、家

族も日本語が話せない。先生たちがその子のために時間をとられているようだ。日本語が通じないためのトラブルもよくあり、問題だと思う。

- ・ 放課後等デイサービスを利用しながら、パートをしています。学校の長期休業中はデイサービスの利用時間が短くなるため、勤務時間が限られてしまいます。兄妹の学費や生活のこともあり、親が働ける環境をつくっていただけると助かります。金銭面で余裕もなく、困っています。死活問題です。
- ・ 放課後等デイサービスの選択について、岡崎市のHPに掲載されている一覧表の情報量が少ないように思いました。年長時に就学後に向けて放課後等デイサービスの見学に行くが、各デイの特色、空き状況、通っている児童の就学先（支援学校 or 支援級 or 普通級等）、申し込み方法などの情報が一括して見られるとわかりやすいと思います。デイ側もたくさんの親御さんから問い合わせがあり、大変なのではと思います。
- ・ 娘みたいな重度知的障がいと自閉症を抱える子どもでも、笑顔で生きられる、生きてもいいと思われるやさしい世界になればいいのにと、かなわぬ夢を抱いてしまいます。正直、娘といると苦しいです。娘に罪はないのに、産んだ母親の私がとても苦しいです。
- ・ 矢作地区に住んでおり、来年度、放課後等デイサービス見学・利用申請をしていく年の子がいるのですが、なかなか送迎してくれる放デイが少ないと他のママさんから聞いたり、情報を見たりしても困るだろうなと感じています。●●、放デイは●●支援学校の子は家まで送迎がないので送迎するようにしてほしい。重度の家族の負担を減らすことも考えてほしい。防災の面でも大地震が来たら矢作川があるので、障害者のための避難所ができても行けないのではと考える。いろいろな面で対策をしてほしい。放デイを卒業すると、本人が早く家に帰ってきて大変で働きにくいと聞いたりするので不安です。もっと日中活動できる場所や過ごす場所が増えるようにしてほしい。
- ・ 幼稚園、保育園、小中学校などで発達障害のことについて学べる機会があればいいと思う。支援学級にいる子たちがどういった子なのかを知ってもらえると、一緒に学習する時にも役立つのではないかと思います。
- ・ 令和8年4月より、放課後等デイサービスの支給決定適正化が行われ、通っている子の日数が制限されるのがとても困ります。
- ・ 療育の必要な障害の重い子が利用できていないからと、軽い子の日数を減らして放デイの枠を空けたとしても、重い子を受け入れるかは放デイ側の判断であり、放デイが選ばないので今通っている子を制限しても重い子は通えないと思います。やみくもに軽めの子や保護者の不安や不満が溜まるだけです。
- ・ 療育手帳Cですが、23日支給していただき、週5で放デイに通うことで、学校の勉強や周りとの

コミュニケーションを取ることを学び成長できています。週5で通ってやっと今の状態まで来ているのに、これが15日(週3)に減らされるのは、今後状態が悪化しないか、子どもが大変な思いをしないか不安でなりません。

- ・ 周りの保護者も、特に手帳のない子はいきなり10日になってしまい、大変困っています。
- ・ 何とか日数の見直しをお願いしたいです。

○障がい者手帳未所持者

- ・ いつも私たち家族を支えてくださる関係者の皆様に心から感謝しています。子どもが障害とわかる前は、一人でずっと悩みながら子育てしていましたが、医療福祉につながった後は、子どもを支えてくれる味方がたくさんできて、私の心も安定しました。ありがとうございます。ここからは意見になるのですが、福祉サービスが充実している子どもの発達障害でさえ、「こども園への送迎」、「療育への送迎、つきそい」、「各リハビリへの送迎、つきそい」、「障害に関連する各病院への送迎、つきそい」だけで平日は親の時間が潰れます。我が家は障害児が2人いるので、それが2倍になります。働きたくても、保育園は就労時間が足りず、介護枠も使えませんでした(でも働かないと今の時代は生活していけません)。周りのママたちも、仕事をセーブしながら短時間で働いている人ばかりですし、職場の理解もまだまだです。今後子どもが成長し、放デイを卒業した後、作業所などが終わった後の居場所があまりないと聞きました。日中一時支援など、市が行っている分野は、市によってかなり内容に差があるようで、残念ながら岡崎市はあまり力を入れていないのが現状で、少ない枠を多くの利用者が取り合っている状態だそうです。障害児・者のことも少しだけ考えていただけたらうれしいなと思います。
- ・ いろいろな障害児を受け入れる教育機関や幼保機関が増えてほしい。「前例がないから」という理由は理由にならない。どうやって受け入れるか前向きに考えてもらいたい。
- ・ お世話になります。現在ワンツーマンの放課後等デイサービスに通っていますが、人気のため思うように入れない時がありますので、今後改善していただけると幸いです。ありがとうございました。
- ・ グレーゾーンの発達支援の環境が整っていない。心理士不足、日本の心理士のスキル不足を感じる。みんなの理解力アップ、先生たちも勉強してほしい。不登校向けのフリースクールへの補助を増やしてほしい。カリキュラムを充実させてほしい。受給者証のある子がフリースクールを安く使えるようにしてほしい。人気の療育施設がいっぱいで入れず、〇〇さんのような臨床心理士在中のパソコンなどに特化した施設が増えてほしい。小学校に根強く残る管理教育の指導方法をやめてほしい。厳しい。新しくもっと生きやすい岡崎市を求めている。いっぱいよいところのあるまちだと思うから。安城のパン屋にあったチラシ(安城市こども計画)、「しょうがい」「しょ

うがい」言わないで、子ども・若い子に向けている計画が全体を変えていくと思った。

- ・ 何だか急にこのような書類が家に届き、子どもに重大な障害があるのかと少し不安になりました。
- ・ ホームページをもっとわかりやすいデザインをお願いします。うまく情報が見つけれないと支援を受けられないです。例えば、「障害福祉サービス事業所一覧表」ですがエクセルで書かれているだけで不親切です。どこに相談して、自分はどこの施設が合っているのかなどを知りたいのです。施設は結局一つ一つ自分で調べて、アポ取って、見に行っても大変すぎて困っています。情報提供の充実をよろしくをお願いします。
- ・ 園での加配をもっと積極的にできれば、先生方の仕事も分散されるのではないかと思います。トイレが苦手な子も多いので、和式ではなく洋式を取り入れてほしいと感じました。
- ・ 岡崎で子育てをしてよかったと思っています。子どもが産まれたときは気にしていなかった福祉サービスでしたが、子に発達障害があるとわかってから、療育施設や相談できる場所、医療機関がちゃんとあり、今までたくさん助けてもらってきました。子の成長とともに、またどういったサービスを利用できるのか、わからないことや不安もありますが、都度いろいろ教えてもらえると助かります。これからも安心して生活できる岡崎市を期待します。
- ・ 岡崎市がこのようなアンケートで改善に取り組んでいることを知りませんでした。差別などの不当な扱いをなくしていこうとするなら、まず市役所の対応を見直してください。サービス提供の権限があるからか、常に上から目線で、こちらの困り感に寄り添うことなく小バカにしてくれます。「税金使ってるって自覚してもらわないと」や面談の日程調整で「使用したいならこちらの言う時間に来てもらわないと。5時15分には帰らないといけないし。」や仕事と育児を両立していることを伝えると「お母さんが働いているとか働きたいとか、こちらには関係ないんで。」など、いつもえらそうで不快です。市民への取り組みの前に市役所の方の意識を改善してください。困っているのでサービスを使っていますが、障害を持つ人もその家族も対等な人間です。
- ・ 岡崎市には、●●小学校があります。通常の公立学校とは異なり、支援の先生がいません。お金がなく、先生の数が十分に補充できないからです。同じ市内にあるのに、随分差があるように感じます。実際には発達障害のある児童も通学しています。他と同じく、●●小学校にも支援の先生や理解のある先生が増えることを願います。
- ・ 岡崎市の放課後等デイサービスは3校の特別支援学校の児童を優先、中心としてつくられているため、一般学区の小学校に通学している子や支援級の子が利用するには空きがなく困難になっている。そのため、安城、豊田の放デイを探す人が多く、通所してもスタッフさんの送迎が難しい（市外のため）ので、保護者の送迎になり、負担が大きくなる。福祉事業所も安城市の放デイの情報は入るが、豊田市の放デイの情報は入ってこない。岡崎市の放デイを増やし、受け皿を多くしてほしい。また、岡崎市で受け入れができないなら、安城、豊田などの近隣の市の放デイの情

報も調べて取り入れてほしい。岡崎市は放デイの利用希望者に対しても、不登校、登校拒否に対しても何もわかっていない。

- ・ 岡崎市は、子どもの時からの障害への支援が年々手厚くなってきていると思います。放課後等デイサービスが増えたり、支援施設が増えたりです。これからもすべての人たちがよりよく過ごせる環境づくりをお願いします。
- ・ 夏休みや冬休みのときだけ行ける放課後等デイサービス等があるとうれしいです。
- ・ 学校によっても、支援の仕方、体制に違いがあり、戸惑うことがありました。必要な場面で必要な（適切な）支援が受けられることが理想です。また、我が子はずっと発達支援を受けてきて、どこに行っても支援の必要な子として扱われてきました。時には先入観なく子どもを見てもらえると違った視点があると思いました。
- ・ 共働きでも通いやすい施設ができてほしい。
- ・ 境界知能で、確実に特性があります。現時点で支援学校や支援級に行くほどの本人の困り感はないですが、周りの子どもと比較し、やはり苦労することも多いです（学習面、コミュニケーションなど）。こういったグレーゾーンの人が将来的に一般就労するのは難しい場合も多いと感じています。かといって、手帳の取得も難しいラインです。こういったタイプの人への将来的な支援を充実していってもらえたらありがたいです。
- ・ 軽度の発達障害児の居場所が少なく、中学生になったら放課後等デイサービスは行くことはないのかなと思う。普通学級に在籍できるが、やはりしんどい時はあり、医師に相談するくらいでがんばっていくしかないのかなと不安がある。
- ・ 現在、年長の息子がいるので小学校に向けていろいろ動いていますが、そよかぜ相談では市内の小学校で支援級の子の間口は同じと説明を受けたが、周りの話を聞くと学校によって大分違うような印象を受ける。難しいと思いますが、市内である程度は足並みが揃っていると親としてはモヤモヤも減ると思います。グレーゾーンや診断がついていても軽度だと本当に悩むことばかりです。
- ・ 現在の住まいの周辺で検討している児童発達支援施設（放デイ含む）はどこも送迎がない（地域限定と言われた箇所もあり）と言われており、通所するにはゆくゆくは正社員をやめざるを得ない状況のため、地域にかかわらず、送迎サービスを充実させて長期的に施設を利用しやすいようにしていただきたいです。我が子の場合、就学には情緒学級が必要だと思いますが、最寄りの小学校は常設ではないようなので、みんなが自身の通いたい学校で支援を受けられたらいいなと願っています。
- ・ 現場でがんばってくれている方の意見を十分に取り入れていただきたいです。
- ・ 昨年まで実施されていた「オカザえもんパラ芸術祭」に、初年度から参加させていただいていま

した。昨年は賞もいただき、ワークショップもとても楽しく参加していたので、今年からなくなってしまったことが非常に残念に思いました。芸術面に関心の多い子なので、同様に「アートのるつぼ」も予算の関係で今年は実施されず、作品をつくったり、出品して多くの方に観てもらえる機会が2つもなくなってしまい、力を伸ばす時期に発揮できなかったのは残念でした。こだわりが強く、どちらもテーマなどが設けられていないのが非常に出しやすくよかったので、復活していただけたらうれしく思います。

- ・ 仕事をしたいができない所に○をつけさせていただきました。突然の学校からの呼び出し、突然の不登校、放デイの送迎（送迎つきの場所にしたらよいのではと思われるかもしれませんが、合う合わない、内容が全く違うため、本人に合う場所を探すをいただきたい送迎なしになります）、とにかく毎日絶対に何かがあるため、安心して仕事できません。主婦になり夫だけの収入で放デイにもお金がかかります。収入が増えると、数万になるのもつらいです。一馬力だと収入が増えて、放デイ代が増えると苦しいです。でも放デイに行ってくれないと、子の楽しみと母の自由、家事何もできません。何度目に見える障がいの方が楽と思ったか。ぜひとも市長にはそういう障がいにも目を向けていただきたいと思います。心の余裕がありません。見えない障がいにも、その親にも余裕をください。こういう親御さんたくさん見えています。助けてください。
- ・ 姉弟2人とも児童発達支援、放デイを利用しています。小学生の子は発達障害です。働けません。2人いるのでいろいろな施設を利用してきました。弟は2歳から療育に通っているのも、専門知識のある所に通えて安心。姉も去年より同じ施設に移ることができましたが、今ある放デイのほとんどがスタッフさんは発達障害の知識がありません。どんどん施設は増えているが、そのほとんどが発達障害を知っていない。専門性の高い療育施設で勉強するべきだと思う。他人には発達障害自体理解されていないので、働いていない＝役員をやっている。ヒマをしているわけではなく、広く理解してほしい。
- ・ 子どもに関してですが、昔に比べ、とても理解が進んでいること、支援が充実していると感じました。まだ3歳なので、今後就学する場合など心配なことはありますが、なるべく健常者と同じように集団活動ができ、支援が必要なところをサポートいただきたいです。
- ・ 子育てや障害児の育児にもう少し優しい岡崎市になってほしい。補助金打ち切りとかやめてほしい。
- ・ 子どもが療育に行き始めてから子どもの成長を感じられたことはもちろん、私たち保護者も情報収集や相談窓口を得られて更なる受容やよりよい関わり方、支援を模索することができております。
- ・ 子どもの今後のために福祉サービスを利用したいと考えても、費用面、利用時間、内容などで、機会が限られてしまいます。障害の程度に関係なく、保護者の心配や子どもに寄り添った福祉サ

ービスを利用できるようになってほしいと願うばかりです。

- ・ 子どもの就園前までは隣市に住んでいました。当市へ越してきてから発達相談センターを勧められてからというもの、様々な医療福祉行政の力を借りて今があります。未就園児に対するアプローチの間口の広さに対し、岡崎にいてよかったと何度も感じることができました。しかし、いわゆるグレーゾーンと言われる人たちの就学後のサポートを受けられるクリニックの少なさに不安を感じています。手厚いケアは望んでいませんが、もしものセーフティーネットとなる場を市として検討していただけるとうれしいです。
- ・ 児童精神科が少ない（福祉ではないですが）。特別支援学級の先生が少ないため、指導が行きわたっていない。特別支援学級のクラス分けの意図がわからない（ASD や ADHD などの発達障害と知的障害の子が同じクラスでは成り立たない、別々にすべきだ）。
- ・ 児童精神科やフリースクールがもう少し増えてほしいと感じます。フリースクールでなくても、中学校のF組のようなものが小学校にもあれば助かります。共働きの場合、学校以外に居場所がなく、登校しぶりのある子は親子ともども苦しいです。このようなアンケートの場をいただきありがとうございました。福祉課の皆様のおかげで今日まで生活することができました。大変な仕事と思いますが、これからもよろしくお願いします。
- ・ 児童発達支援センターに子どもが一人でも通えるようになってくれると、親も就労しやすくなると思います。発達の気になる子の親でも安心して子どもを預けて働ける岡崎市になってくれるといいなと思います。
- ・ 児童発達支援を受けるまでに待ち時間が数か月単位でかかってしまうため、対応可能な施設や職員の数を増やしてもらえるとよいのかなと思います。
- ・ 時々、発達支援センター等で開催される障害を持つ親に向けての勉強会や相談会があって、そこがとても「居場所がある」と感じられてありがたいので、これからもそういう機会を持つことを続けてほしいので、市としてもサポートして行ってほしいです。「違っていてもいいじゃない」という一人ひとり違うことを受け入れられるように、皆が考えられるよう、受け入れられるような環境になってほしい。
- ・ 手帳が出ない軽度の子の支援があるとうれしい。手帳がないからこそ、周りの人からの支援や証明するものが具体的になく、本人も親ももどかしさがある。
- ・ 手帳が出ない親として、手帳がないからこそ周りへの理解や本人の生きづらさがある。そこへの支援があるとうれしい。親が本人のことをすべて伝えなければいけない苦しさがある。親もいつまでも生きられないので、軽度の生きづらさに支援があるとうれしい。
- ・ 手帳の基準には達しておらず持つことはできないが、医師の診断にて障害児との診断を受けているいわゆる発達グレー児童と呼ばれる子たちの進学先の選択肢の狭さ。手帳があれば国からの経

済支援や通所施設があるが、手帳がない障害者は一般枠の中で自立し、生活をしなければならず、経済支援も何もないこと、行きたい学校への受験も一般の子の中に混ざって受験をしなければならぬこと、少しでも手帳を持たない障害者の生活への支援などが充実したらいいのになと思っています。

- ・ 初めての子どもでコロナ禍でもあったため、乳児期に他の乳児と接することができませんでした。1歳半検診で見つけてもらえなければ、発達のゆっくりした子どもとして今も何の支援もせず過ごしていた可能性があります。見つけていただき支援を受けることができ、大分言葉が出てくるようになりました。まだまだ健常児の子と比べると不十分なことや心配ごとは多々ありますが、今後も放デイなどで人との関わりなどを学んでいってくれたらと思います。本当に感謝しております。ありがとうございます。
- ・ 所得制限を何にでもつけるのはどうかと思う。
- ・ 小学校に進学後、現在している仕事が続けられないのではと不安です。保育園のような時間帯で子どもが過ごす場所があれば、親も働くことができます。付き添い登校などの必要が出た場合の親の就労支援も併せて考えていただきたいです。子どもを支援したいのはもちろんですが、将来のためのお金を得られなくなるのも不安です。
- ・ 小学校へ入ると通える療育の幅が減ってしまい困りました。今後は就学前に通っていた療育を継続できるようにしてほしいです。
- ・ 小学校卒業後（中学～就職）の将来への適切な支援。障がいのある人が働ける場所を増やしてほしい。
- ・ 小学生の放デイも無料にしてほしいです。
- ・ 障がいがある子ども、人は結局家族が面倒みるしかない状況になっている。学校は預かってくれるが、それ以外の手を差し伸べてくれる機会が少ないと感じる。デイサービスもどこもいっぱいだし、料金も高い。共生というより家族におしつけ社会を感じる。社会の中で生きていけるように望む。
- ・ 障害の程度に関わらず障害のある者または家族に給付金をお願いしたい。デイサービスの送迎で仕事の時間に制限が掛かるために収入が減る。重度の障害がある者のみ給付を受けられるのは差別と同じだと思う。
- ・ 障害のある方が公共交通機関を利用して当たり前に通所する、重度の方でも支援者と一緒に地域の生活の場から通うということが当たり前の共生社会になってほしい。そのためには障害者パスの創設、移動支援の拡充等ある程度の予算や認識を持たないと実現しないと思う。障害者福祉に思いのある他の自治体では行っている。岡崎市も真の共生社会を目指す立場にあるのではないかなと思う。今は無理でも自分の子どもが大人になっている時には住みやすいまちになってほしい

い。障害があっても共に生きるということを考えてほしい。

- ・ 障害者の困りごとの一つに病院受診のつらさがあります。医療ケアが必要な子、見た目ではちっともわからない子までいる中で、ただでさえ受診は大変なのに暴れてしまったりすると、周囲の目は冷たくてとても理解されているようには見えません。もっと気楽に安心して受診できるようなクリニックや病院がほしいです。そういった施設も遠い所であっては意味がないので、市の北部、中部、南部に障害のある方たちに優しい病院村みたいな、すべてが一緒の場所にあると岡崎市もよくなると感じています。
- ・ 障害福祉に携わるすべての皆さんに感謝しています。1歳半検診で引かなかった息子と不安を抱える私に、保健師さんが何度も電話や訪問をして支えてくださり、本当に救われました。にこにこキッズを紹介して、さらにそこから●●を紹介して入所まで導いてくださり、我々家族は本当に命丸ごと救っていただいたと思っています。我々が今幸せに前を向いて生きていられるのは、岡崎市で福祉に携わるすべての皆さんのお陰だと思っています。これからも岡崎市の障害福祉が充実したものでありますように願っています。
- ・ 場面緘黙に関する研究をしている方が日本に少なく、医療にかかってもどうアプローチしていけばよいのか専門的な方法を教えてくださる機会がありません。情報は本を読んだり、当事者のユーチューブを拝見するくらいです。義務教育終了後の進路、就職が大変不安な状況です。支えてくださる相談先があると心強いです。
- ・ 昔に比べ、子どもたちは同じように接してくれるが、親より上、親世代はまだまだ偏見が多い。困った時に声をかけてくれるとうれしいが、それよりも、そっとしておいてほしいこともある。本当に困り、疲れている時は「相談先を探す」、「相談に行く」気力もなく疲れている。そうなる前に周りが気づける暮らしがとても理想。障害のある人からのアンケートをとってもらいうれしかった。ありがとうございます。
- ・ 発達支援はとてもデリケートで難しい問題がたくさんあると思います。事業所の方々はいろいろな所に気を配りながら対応してくださり、安心してサポートを受けられている今に感謝しています。ただ、支援の流れが見えにくいのは今も変わらず、常に将来に不安がある状況が続いています。成長すればするほど、親子ともに先の見通しが見えて選択肢として何があるか事前に知ることができたらもっといいだろうなと思います。
- ・ 発達障害かもしれないと思った時にまずどうしたらよいのかインターネットで調べますが、結果「市による」ということがわかりました。しかし、インターネットでみてもだいたいいつ頃に、どこに連絡してどうすればよいのかわからなかったです。最初、私自身も発達障害と知的障がいとの区別もわかっていなかったため、今後の子どもの進路がどうなっていくのかと思った時に、不安になりました。岡崎市ではなく、知立市に障がい児の進路をまとめた資料が掲載されていた

ので、そこで理解しました。うちの子が通常学級なのか、支援学校が必要なのか、学校見学はいつ行くのか。そういったお知らせを前もってインターネットに掲載していただけるとうれしいです。もちろん時期になると市から連絡が来たので学校見学は行えましたが、ネットで確認できるページがあればよいのになと強く思いました。

- ・ 発達障害の子たちに対し、社会としてまだ理解、受け入れてもらえてないと思います。将来、働ける場所があるのか不安です。発達障害の子たちが安心して働ける会社が増えてくることを望みます。そのための支援を岡崎市として進めていただきたいです。
- ・ 発達相談の予約待ちが長いと、小児発達専門の医師がもっと増え、発達相談できる環境が整うとよい。幼い頃に療育を受けて成長した子に対し、いわゆる発達グレーゾーンの子に対し、就職や進学に関して相談できる場があるとよい。そして、そういった子に対する職場の方たちの認識を高めてほしい。
- ・ 不安や疑問をかかえて市役所に相談しに行った際に、市役所職員の対応が業務的で冷たいと感じることが多い。
- ・ 不登校の子ども（障害あり）を預かってくれる事業所や施設があると助かります。預けて仕事に行けるとうれしいですが、親子で平日午前中に出かけられる場所があるだけでも助かります。欲を言えば、学習をサポートしてくれる支援員さんがいるとうれしいです。学校は苦手ですが、小集団であれば活動できる（または活動しやすい）子どもは一定数いると思われれます。毎日を子どもと2人で過ごすのは大変です。
- ・ 保育園、幼稚園、小中学校などで働く先生方へ、発達障害に関する研修を充実してほしいです。学校で必修ではない世代も多いのではないかと思います。コロナ禍生まれだったので特に情報が少なかったのかもしれませんが、小児科クリニックで発達に関する相談ができることを知りませんでした。それぞれのクリニックで予約方法が異なるのかもしれませんが、できるということだけでも周知してほしいです。
- ・ 放デイの預けられる時間が短く満足に仕事できない。矢作東小学校の学童は民間しかないので料金が高くて利用できない。こどもの家に預けようとしていた時に、自分で名前が書けないと無理と言われ、夏場の暑いときはクーラーの効いた狭い図書室の所しか利用できないので、おとなしくできる人しか預けられないと言われた。
- ・ 放デイを利用しているが、送り迎えの時間などがあり、親が正社員で働くのは難しいと思った。放デイを利用しても親が正規で働ける環境ができればよいと思う。
- ・ 放課後等デイを使っているが、2か所以上同時に使用できるようになってほしい。他の所も使いたいのに、今使っているところをやめないと使えないと言われた。介護保険関係のいえやすネットワークみたいに、利用者とサービス事業者と相談支援センターが連携がとれるようにしてもら

えると、サービスが使いやすい。サービス使用料金が課税により、もう少し細かく料金設定してほしい。手帳がない利用者は高くなってしまふ。

- ・ 放課後の過ごし方が不安です。一人で残してしまうことへの不安があります。放課後等デイサービスを利用するメリットがあることがわかっているにもかかわらず、利用料1万から2万円以上、育成センター、その他習い事（水泳）もあり、デイサービスの利用日を検討しなければと思っています。所得があるので、それに伴って、ともわかりますが、兄弟で放課後等デイサービス利用となったとき、家計への負担が大き過ぎます。また、うちの子は境界知能で通常の中で浮きやすく、しかし、特別支援なのかと迷うゾーンにいます。学校の中で、グレーゾーンにいる児童が通常学級でサポートしていただけるような柔軟なシステムや指導して下さる方の増員をお願いしたいです。
- ・ 放課後等デイサービスなどを希望する日数分、支援を受けられるようにしてほしい。所得制限を上げてほしい。
- ・ 放課後等デイサービスの利用日数を限定するという話があると聞きました。育成センターの利用希望を出しても、地域によっては小2以上は入るのが難しいという現状の中で、発達特性のある子どもの受け入れはなおのこと困難です。仕事をしながらの子育てがさらに難しくなってしまうことを懸念しています。今後も現状どおりの利用日数を確保してもらえることを切に願っています。
- ・ 放課後等デイサービスを利用していますが、所得の関係で、上限額が¥4,600から¥37,200に上がってしまい、かなり家計がきびしいです。お金が高いから利用を減らさなくてはならないけど、利用して成長してほしいしと悩ましいです。もっと上限月額を下げただけだと大変助かります。
- ・ 放課後等デイサービスを利用しているが、受給者証の利用負担の上限額が所得に応じていないので、今32,700円になっている。物価も高くなり、それに伴って所得も上がるのは仕方ないことなので、所得制限の額を上げてほしい。上限額辺りの収入なので、負担額が6,600円の時と32,700円では月々の負担額が3倍程違うので、負担に思う時もある。
- ・ 本当に0～4才くらいの発達障害か悩んでいる親を救ってほしい。本当にすごく苦しかった。これからの道筋が見えると、相談できる場所をわかりやすくするなどしてもらえると一人で悩まず苦しい時間が減ると思います。ホームページでわかりやすく。
- ・ 未就学児の相談場所は発達センターがありわかりやすいが、小学校以上の相談場所がわかりにくい。児童精神科が少なく、予約もとりにくい。困った時に気軽に相談できる場所、電話サービスがあるとうれしい。
- ・ 矛盾した発言で恐縮だが、重度障害者でない限り、健常者を食いつぶして生きたいわけではなく、一人の人間としてのあり方を望む以上、できるだけ自分のことを自分でやるべきだと思いつつ、

実質は健常者や周りの助けと工夫なしでは生きていけないのも事実である。周りや社会への感謝を形にすることもできず、それどころか自身のこともままならないのは地味に心苦しきもある。正直、何らかの社会への恩返しができるまでになりたいと常々思う。

- ・ 問 11-4 の設問は「放課後」「休日」で過ごし方が違うので「○は1つ」にするのはどうなのか。条例ができていた、あったことをこのアンケートで初めて知った。もっと市民に広まって福祉や手話に関心を持ってもらえたらなと思った。
- ・ 問 27 でいろいろと○をつけましたが、岡崎市より幼児期は発達支援センター、児童になっては市民病院小児科でカウンセリング、放課後等デイの助成など手厚い支援をいただき、自閉スペクトラム症ですが元気に楽しく通学できております。
- ・ 矢作北学区に放デイや相談できる所が全くない。美合方面には多くある。人口の多さなど、理由は様々あると思うが、もう少し均等につくってほしい。
- ・ 来年、小学校入学で、今はこども発達医療センターでみてもらえるが、就学後の支援など、自分で探すのは大変だし、就学後に相談したいことも多いと思うので、就学後の支援先をもっと積極的に教えてほしいし、紹介してほしいです。
- ・ 来年度から障害児の通所受給日数が大幅に激減するという話を耳にしました。学校での在籍学級や手帳の有無だけでは測れない大変さや苦勞を抱えている方が多くいます。様々な理由から、福祉サービスを利用することで、生活が成り立っている方もおられます。各個人の下承なく、勝手に一律で受給日数を決定することは断じて許されることではありません。事前に説明し、個別の下承を得ることが、最低条件ではないでしょうか。
- ・ 児童発達支援の施設の場所が偏っていると思う。近所によいところがなく、遠くまで行っていたが、送迎が負担になり、やめてしまった。無料または安い料金で遊べる室内遊び場があると助かる。子どもが遊ぶ場所が少ない。
- ・ 「岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例」にて、性別を「生物学的な性別、性的指向、性自認及び性別表現」としているが、生物学的な性別以外は他人には判別できない。特に障がいや特性のある人・子どもには難しく、多様な性の方と双方の尊重を両立することは不可能。●●にて女性服を着用した大柄な生物学的男性が女性用トイレに入るところを見たが、岡崎市では性別の定義を多様に広げたために、障がいのある人を含めた生物学的な女性や女兒の人権は多様な性の方より下に置かれてしまっている。
- ・ 軽度知的障害の診断を受けている息子が親亡き後どのように暮らしていくのか（いけるのか）とても心配です。ひとり暮らしは到底無理なので、軽度知的障害の方たちが支援を受けながら暮らせるグループホームが増えてほしいです。私たちならたやすいことでも（生活において）息子にとっては困難なことが多いので、グループホームで暮らしていけたら親としてはこの上ない安心

を得られますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- ・ 親の私も視力障害があり、両親が亡くなった後、知的障害のある息子と生活をしていくことに不安がある。弱視であるがゆえに理解はされにくく生きづらさを感じる事が多々ある。シングルマザーなので頼れる人も少ない。今は障害者雇用で働かせてもらっているが、老後が不安。親子ともに支援してもらえるにはどうしたらよいかわからない。
- ・ 長期休み等の時に放課後等デイサービスを利用する開始時間が遅く、学校の時のような時間で仕事ができない。子どもの家には迎えに来てくれるらしいが、子どもが行きたくない、また、中学生になると行けないので、放課後等デイサービスが始まる前から預けられて、そのまま放課後等デイサービスに送ってくれるようなサービスがほしい。

3. その他市民

○18～29 歳

- ・ 自分自身、障がいのある方がどんな手助けを必要としているのかなど、障がいのある方と関わりがなかったのであまり考えたことがなかった。その状態で、災害などその他手助けすべき場面になっても何もできないと思うので、日常生活で自然と目に入る場所に何か掲示してあると意識を持つ人が増えるのではと思いました。
- ・ 障害を持つ人がいる家族に対しての支援が全くなっていない。障害者本人が一番きついのはもちろんだが、支える家族も同じように大変。障害者だけでなく、家族などにしっかり目を向けるべき。身障の方だけでなく、精神疾患、発達障害の方の家族の支援も考えていくべき。私は、現在苦しい状況で生活している。このアンケートを取るなら見て見ぬふりをせず、意見と向き合い早期行動をお願いしたい。
- ・ 障害者だけでなく、すべての住民が暮らせるようにしてほしい。そのため、障害者のための施策が他の人への障害になってはならないと思いました。
- ・ 精神系の障がいのある方も働きやすい環境をつくっていくべき。岡崎市採用試験を受けた時も書類で落とすのではなく考慮していくべき。
- ・ 個人で思ったことですが、障害者のこと自体あまり知られていないと感じるので、もっと広告活動をして、まずは認知してもらおうべきと考える。

○30～39 歳

- ・ 岡崎市は、まちなかで障害のある方が一人でのをあまり見かけないので、一人で外出するには危険な所が多いのかもしれないと思います。交通量が多いのに歩道がなかったり、路側帯が狭い所がたくさんあるので。車いすの方が路側帯から出てしまっていて危険だと思ったことがあります。
- ・ 共生社会においては、健常者が障害者をフォローする一方、健常者側にも何かしらのインセンティブが発生する施策を希求する。
- ・ 共生社会の実現には相互理解が必要です。生活施設の数の確保は重要ですが、営利企業の参入によって虐待、不適切な支援、利用者の囲い込みが発生しています。岡崎市内でももうかる事業として、居宅介護を利用した障害者向けホームを開所している企業が増えています。運営の不透明さと本来の居宅介護の目的から逸脱している点が問題です。障害者の将来的な利益になるような施策をお願いします。
- ・ 金銭的補助は現状をキープし、下がらないようにお願いしたいです。可能であれば年々増えてい

くことが理想です。

- ・ 自分は看護師として働いていますが、勉強不足か知らない条例や法令が結構ありました。医療機関等や公共の場にわかりやすいリーフレット等があるとよいかと思いました。既にございましたら申し訳ございません。
- ・ 障がいの有無に関わらず、すべての人が暮らしやすい岡崎市にしてもらいたいと思います。
- ・ 障害がある子と一緒にクラスで授業などを受けることは、先生や生徒にとっても限界があると思う。共生は必要だが負担にならないように考えてほしい。
- ・ 特に障害のある子どもたちが適切な発達への支援、早期支援ができる環境があればいいと思う。
- ・ 障害のある子どもとその親は、家庭内で問題解決しようと悩んでしまうケースが多い。
- ・ もっと気軽に相談できる機関があればと思う。今、相談から療育などの支援につながるのに時間がかかっている気がする。職員や場所の不足であれば、充実させてほしい。
- ・ 子に発達障害があり、日々試行錯誤しながらの生活だが、教育の場において特に理解ある対応を求めることの難しさを感じている。学校の先生との知識の差や理解の差、一人ひとり異なる特性を説明することの難しさなどが障壁となり、なかなか思うように子の過ごしやすい環境をつくってあげることができない。一人ひとりの症状や特性が大きく違う発達障害について理解してもらい、知ってもらうことの重要性を日々痛感している。

○40～49 歳

- ・ QUON というチョコレート販売店は障がい者の働く場を考えた社長が、試行錯誤をした結果の成功ストーリーという特集をテレビで拝見しました。障がい者の方が働くとしても、給料が安くとも支援なしでは暮らしていけない。しかし、このような企業が増えてくれれば、働いた給料で生活でき、国の支援をしなくてもよくなるから、こういう企業に国が支援する。障がい者だけでなく、健常者にとっても住みよい日本になるとうれしく思います。
- ・ 皆平等、支援するのが当たり前、障害があるから助けてあげる。なら健常者の負担は。健常者は誰が助けてくれるの。税金はどんどん上がって、物価も上がって、給料はあがらず、生活苦。で、相談しても一定所得あるのと言われて、障害者手帳もっているだけで優遇されて、障害を持っているようがいなかろうが、すべての人に暮らしやすいまちにしたらと思います。そんなに、障害のある方をというなら引っ越して他の市に行きたいよ。
- ・ 会社で難聴の外国人と仕事している。言語と難聴で意思の疎通が難しいが AI で言語を要約し、その後翻訳している。これによって意思の疎通が割とうまくいっていると思う。技術によって活躍できる人が増えると思う。
- ・ 共生社会を目指すのであれば、小中学校の頃から日常的に健常者と障害者が関わる機会をつくる

(当たり前のように) のも1つかなと思う。私は、小学校の教師が身体障害者だったので、周りの生徒で自然と補助をしていたため、あまりその先生を障害者として意識することなく共生できていたように思う。正直、障害者だけのイベントや行事に行くことはない。普通の(健常者がやっているであろう) イベントや演奏会、作品展に障害者も参加すればよいのでは。分けられると行きにくいです。障害もいろいろあるので、身体的なら補助できるが、知的だと何をすればよいかわからない。過去に知的障害者の男性から痴漢行為をされ警察沙汰になったため、正直少し恐怖感は未だにあります。もちろん、そんな人ばかりではないことも重々承知しています。

- ・ 勤務地は岡崎ではなく、名古屋です。名古屋の企業に勤務しています。社内では障害者の方も勤務しています。
- ・ 就労支援B型事業所の支援が国の政策変更によって総量規制され、今後倒産していこうとYoutubeで見ました。元々B型が成果型報酬になったこともおかしな話だと思っていましたが、輪をかけて改悪されていくことに憤りを感じます。
- ・ 障害のあるなしに関わらず、みんなが暮らしやすいまちづくりをお願いしたいです。
- ・ 障害のある方が気軽に声をあげられるような相談窓口などを増やし、気持ちも穏やかに過ごせるまちづくりをしてほしいです。駅前などだけではなく、普段の道路などの整備も、障害のある方への配慮がされることを望みます。
- ・ 障害のある方に関して理解を深めることはよいことだと思います。しかし、やり過ぎた結果、健常者にとって暮らし難くなっては本末転倒です。バランスが大切だと思います。困っている人がいたら助ける、虐待を見つけたら通報する。これは障害者関係ないのではないのでしょうか。健常者なら助けなくていいですか。虐待を見て見ぬふりしてもよいですか。ハンデの差はあれども、同じ人として同じように接せられる社会が実現できればよいと思います。
- ・ 障害者だけではなく、健常者も生活しにくいところにまずは目を向けるべき。
- ・ 障害者の方を「障害者」として扱うことに抵抗がある、障害者だから手助けが必要とか、介助が必要とかの考えが既に間違っているのではと思ってしまいます。程度にもよるが、障害者の方も自我があり、「障害者」として扱われたくないのかも知れない。例を上げると、満員電車でご年配の方に席を譲る行為、行動としてはよい行いだが、年配者からしたら大きなお世話かも知れない、年配者の心を傷つける行為だと思う。なので「ヘルプマークを付けている障害者の方は支援する」との答えになります。ヘルプマークを確認できれば、コチラの初動も変わってきます。ヘルプマークをもっと広めていただきたいです。
- ・ 身内に障害者がいるが、遠方に住んでおり、特に関わりはなかった。今後関わるつもりもない。親が亡くなった後に、こちらに頼られても困ると話をしている。岡崎市に限らず、自立サポート支援や経済管理支援(安価な公的後見人制度)など、障害者本人が自立して暮らせるような施策

をつくってほしいと思っている。

- ・ 保育園年少の子どもが、週に一度聾学校の子が園に来るのを楽しみにしています。手話も覚えて家で教えてくれます。小さいうちから接していくことで純粋に楽しむことができているので、とてもよいことだと思います。
- ・ 「障害のある方」を初め見た時、学校や職場でのことはすぐ思い出したのですが、そういえば母親が数年前に心臓の手術を行い、障害者手帳を持っています。普通に生活しているので忘れていましたが、手帳を持っているからいろいろなサービスを受けられることもみんなにベラベラしゃべっているの、医療費や他のこと、そういうことは人にしゃべらない方がよいと思うと言ったら、思ってもいなかった言葉が返ってきました。「あんただけ嫉妬しているから」と言われズレているなど。障害者手帳を持っているからと言って、みんながみんなそうではないけど、残念ですがそういう人もいるということです。それが母親で恥ずかしい。
- ・ Be kind and respect to people who have disabilities.

○50～59 歳

- ・ このようなアンケートを受けて、障がい者の方々への制度、福祉に関することに対し、自分の中では認知されてなかったの知悉きっかけになりました。
- ・ テレビで障がい者が老人施設で働くのを見て、お互いに助け合っている感じがして見ていてよかった。
- ・ 一言で障害と言われても、身体障害、精神障害、発達障害など幅が広すぎて、それぞれの方に対しての対応も違うはず。このアンケートが誰に対して答えるべきなのかわかりにくかったです。健常者から見て、障害者が何に困っているのか、手助けが必要なのか、見守りが必要なのか、声をかけること自体が差別を受けていると感じるのかわかりません。健常者、障害者関係なく、本当に困っている人は、今声を挙げられていない人たちだと思っています。障害者に特化したサービスに疑問を持ちます。
- ・ 何かして差し上げたくても自分には力もお金もなく、申し訳なく思います。小さなイベントなどあれば（近場で）参加しやすくコミュニケーションも取れるのではないのでしょうか（フリーマーケットなど）。
- ・ 計画で終わらず、実行されることを願います。
- ・ 子どものころは障害者に対する知識を学ぶための機会があるし、教育の場でも取り上げているが、中高生くらいになると、そのような機会も少なくなっていく気がします。大人が障害者と触れ合う機会の創出が大切だと思います。
- ・ 市が取り組んでいる福祉施策について、自分がほとんど何も知らなかったことがわかった。

- ・ 私も、この先誰にお世話になるかわからないので、自分が元気なうちは助けを必要とされている方の力になれたらいいなという思いです。岡崎市がどのような人にとっても住みやすく、そして困ったときに頼れる場がある市になってほしいです。
- ・ 視覚障害の方、車いすの方が JR 利用の時、乗車駅、降車駅でスムーズにサポートされている姿をよく見かけます。JR の職員さんのような方が、公営民営問わず公共の場に多くいてくれると安心できると思います。ヘルプマークを恥ずかしいと思わず、もっとたくさんの方が堂々と鞆につけて出かけられる社会になればいい。
- ・ 手話が身近なものになるように、講座のような形ではなく学ぶ（知り、興味を持つ）機会をつくっていただけたらいいと思います。
- ・ 助けなくなる障害者もいるし、その逆もあると思う。障害者だろうがなかろうが、最低限の人に対するコミユカや愛想のよさで、対応は変わると思う。自ら心を開いて、わからないから教えてもらおうとか、自分ってこうなんだと伝えようと努力している人は、こちらも助けようと思うけど、受け身の態度で心が閉じていれば、こちらもわからない。努力せず受け身で得する場面を見たらずるいと思うし、お互いの努力は必要。
- ・ 障害があるないに関わらず、一人ひとりの個性を受け入れて生活できるようなまちができればと思います。思いやりができるよう心豊かに生活がしやすい岡崎になってくれることを願います。
- ・ 障害のある方というのが、このアンケートではどこまでを含むのかよくわからなかった。回答しにくかった。
- ・ 障害のある方も地域の中で安心して暮らし、参加できるようなまちづくりを望みます。私自身も岡崎市で施行されている条例や法律など知らないこともあり、障害のある方々との共生（インクルーシブ）社会の実現に協力していく必要性を感じました。また、お互いを思いやる気持ちを育てる取り組みを、地域全体で進めていけたらよいと思います。
- ・ 親が脳出血の後、言語と半身不随の障害が残り、少しだけかかわりました。まず、どこに何を相談できるのかも、わからず。支援のこともなかなかわかりませんでした。ある日突然、障害になってしまった場合や本当の初心者向けの方が気軽に相談できる場所や人がいると、安心できると思います。
- ・ 昔手話を少し学んでいました。今は忘れていくばかりなので何かしら役立てるような情報などがあればなあと思ったりもします。
- ・ 普通に気軽に声をかけ合えるようになるといいなと思います。
- ・ 福祉は「してあげる」、「してもらおう」ではないということを、何より根付かせていきたい。「障がい者だからしてもらえる」のでもなく、視力の低い人がメガネをかけるのに安いメガネが買えるようにするのと同じように、障がいを持っている人が「気持ちよく生活するための手段」にア

クセスしやすいように、みんなができる範囲で施設やサービスを拡充して支え合えるとうれしい。

- ・ うつ病で就労移行支援事業所から就職した息子がいます。仕事内容は健常者と変わらず働いています。残業もしますが、給与はパート扱いでボーナスもありません。仕事内容も正社員と同じ扱いです。本人は努力しても、うつ病で障害があるということだけで差別（給与）されていると感じています。努力している障害者に正社員になれる機会があること、そういう企業が増えてくれることを願います。
- ・ 障害の子どもは小さい頃よりいじめにあい、周囲の子どもや親からも理解されず、ずっと親子とも孤立してきました。大学卒でも就職に100社以上も受け、全部落ちました。A型作業所に通っていますが、市内で提供されないため、遠く一宮まで行っています。岡崎市内にA型作業所を受け入れてくれる企業を増やしてください。障害者雇用（精神）を促してください。

○60歳以上

- ・ 障がいのある人を支える人のために、カウンセリングを簡単に受けられるシステムがあるのではないかと思いました。ひと口に障がいと言っても、何の障がいかなと思いつつ回答しました。
- ・ 近所の障害のある親から岡崎市は障害者にやさしくないと言いました。
- ・ 障がいがある方が、安心して暮らしていける岡崎市になるように、今後がんばってほしいと思います。
- ・ 障害があるなしに関係なく過ごしやすい環境が大切だと思います。
- ・ 障害と言ってもその内容と程度には個人差が大きいと思う。また、以前より障害と認知されている事例も増えていると思う（特に幼児～小児）。障害を持つ方への支援は、自立できる方なら外出しやすい環境（歩道の整備とか）や就労機会を増やすなど、助けてあげるという考えでなく、自立できる手助けの方法を考えてほしいです。
- ・ 障害者は高校を卒業すると、同年代の人たちとは交流がほとんどなくなる。また、運動量が激減するため、肥満になるケースが多い。岡崎市ももっと気軽にプールやジムが利用できるよう、西尾のホワイトウェーブのような温水プールや交流の場ができるとよい。げんき館では、限られた時間やルールで全く利用できない。
- ・ 多目的トイレ、点字ブロックを当事者を混ぜて検討してほしい。

○年齢不詳

- ・ 障害と一言と言っても、身体的障害、精神的障害があり、範囲が広すぎてどのような人を想像してアンケートに答えてよいのかわかりにくいと感じました。例えば、私の義父は難聴で、障害者

手帳を持っています。そのような人（普通に生活ができている人、市からの援助で補聴器等が取得できていますが）を対象者として見てよいのだろうかと感じました。

- ・ 困っていて手伝いや声かけをするのはよいけど、それをやられて当たり前と思っている人がいるとちょっと…と思う。

4. 事業者

- ・ 計画相談は、年々利用者が増加していくことはわかっているが、相談支援事業所がどこもいっばいで、相談員が疲弊する現状がある中、市からの明確な先々の対策が出されていないため、見通しを持って利用者受け入れができない。必要とする人に対応できるだけの相談員の充足ができるよう、各特定計画相談支援の受入人数による評価加算など、少しでも報酬の見直しをしていただけたらと思います。何より、今後、計画相談を必要とされる方の対応について整合性のある方針を明確にしていきたいです。
- ・ 就労移行支援は、通過型の事業所であるため、利用者の確保が難しい。在宅の方等の働き方について支援してもらいたい。就労継続支援B型では、作業工賃額を引き上げるための努力をしている。しかし、近年の平均工賃額の上昇には対応できない。安定した請負作業、施設外の作業等を紹介してもらいたい。
- ・ 令和6年度の障害福祉サービス等報酬改定、最低賃金の改定、物価高騰等が経営に多大な影響を与えています。障害福祉を志し尽力してくださる職員の方々の処遇を改善したくとも障害福祉サービス費が上がらなければ難しい状況にあります。支援金などで一時的に改善されたとしても、他業種に比べれば厳しい状況にあると実感しています。現状、報酬改定は3年に1度ですが1年ごとに見直すなど、めまぐるしく変化する社会情勢に対応できるよう改善を切に願います。精神障害のある方の受け入れをしています。トラブルが多く、職員がその対応に苦慮することが少なくありません。精神障害のある方のグループホームは、精神病院の方が設立・運営された方が利用者さんの障害にあったサービスを提供できると思います。
- ・ お子さんに必要な療育を提供し、家族の支援ができるように療育の質を上げるためにはどうすればいいのか、本当に模索している。事業所間が本当の意味で連携し、岡崎市全体で育ちを考えていけるようになりたい。事務の書類の煩雑さや報酬改定のたびに書式やいろいろなことの変更があり、事務作業に追われている。大規模災害への事業所での準備、連携についての仕組みがないことに不安を感じている。準備を進めていきたい。
- ・ 地域移行・地域定着(以後、制度)の件数の少なさは指摘されているが、退院支援を各相談支援事業所は適宜行っている。理由としては、活用しづらい制度であることからかと考えられるため、制度の数値化とともに、制度を利用していない退院に関する数字も確認できれば。
- ・ A型利用者さんの毎年の最低賃金アップはかなりきついです。仕事量を増やすのも限界があり、単価アップは交渉するがほんのわずかです。条件などの変更をお願いしたいです。
- ・ いつもお世話になっております。今後も生きづらさを抱える利用児・者の支援を大切に、苦勞を抱えるご家族に寄り添い、楽しくやり甲斐のある仕事にスタッフさんが集中できるように努力してまいります。

- ・ とにかく、現状（利用者様、職員一同）に対して、サービス全般の維持（質や賃金の低下の予防含む）をすることを念頭に、今後、福祉業界が明るく、楽しく、将来的にも安心（運営や親亡き後等）できるように、職員や障がいを持つ方に希望を持っていただけるように次世代の方々のためにがんばるだけです。
- ・ 医療的ケア児支援等をはじめとして新たな諸課題に対し、実施主体の市町村としてライフステージに応じた支援、給付、サービスの提供などのマップを整備しておく必要性を感じております。
- ・ 求められる支援の質の向上に努め、それに伴う事務負担も増加しながらも対応している。こういった現状に見合った基本報酬が設定されることを期待したい。
- ・ 強度行動障害の考えは、支援において障がいの程度に関係なく必要だと思えます。しかし、障がい程度の軽い子が、将来社会に出ていく時に福祉の世界にも守られず、自分で生計を立てていけないといけない。そんな子への支援もしっかりと計画をしてほしい。軽い子が増えている中で、その子たちは二次障がいを併発しそうなかわりを学校や職場で受け、心のケアが必要になってしまう。それこそ、精神障害が増えてしまう。重い子は支援を受けられるが、軽い子は子ども自身ががんばらないといけないことを改善してあげてほしい。
- ・ 現在、岡崎市内には 50 か所以上の就労継続支援 B 型事業所がありますが、多くの事業所で定員割れの状況が見られます。一方で、職員の確保も難しく、求人を出してもなかなか応募がないという声を多く耳にします。また、利用者やそのご家族（特に特別支援学校の保護者）の間では、「少しでも工賃の高い事業所を選びたい」という傾向が強まっているように感じます。こうした状況の中で、利用者を確保するために、収入よりも多く工賃を支払う、職員の配置を実際より多く見せる、利用者が休んでも出席扱いにするなど、法令やルールから逸脱した運営を行う事業所が増えていると聞きます。このような実態は、誠実に支援を行い、職員を増員して丁寧に対応している事業所ほど経営的に厳しくなるという、非常に残念な構造を生んでいます。真面目に取り組む事業所が不利になる現状に、強い危機感を抱いております。また、管理者やサービス管理責任者の人材面についても、近年は以前のように専門資格を有する人材が少なく、事務処理や支援記録などの基本業務にも課題が見られる例が増えています。福祉の仕事は、人の人生に関わる責任ある職業です。そのため、一定の専門知識や支援スキルを持った職員が適正に配置されることが、事業所の質を守る上で欠かせないと考えます。岡崎市として、今後は事業所の数を増やすことよりも、人材の質、支援の質を高める方向に重点を置いていただければと切に願っております。現場で真摯に支援にあたる者の一人として、健全な運営が継続できる環境づくりを期待しています。
- ・ 光熱費、食材費等の高騰により、現在の報酬単価では安定した事業所の運営が難しくなってきました。また、利用者が休まれた時、入院された時は報酬が減ります。しかし、事業所は、利用

者の契約した日を前提に、職員等を配置しなければなりません。安定した事業所の運営ができるようにしていただきたいです。

- ・ 今年開所しましたが、利用者の確保が難しく経営困難です。相談支援所からの紹介もなく、推測ですが、相談支援事業所がある所は同グループへの事業所へ紹介している流れではないでしょうか。営業努力が足りないと言われればその通りかもしれませんが、新規参入が難しいと感じています。昔からある、資金力がある事業所しか残らないのは、子どもたちにとって選択肢が少ないと思います。
- ・ 事業所での法令順守や福祉事業に対する考え方の差が非常に大きいと思っています。ルールを守れない・守らない事業者が多くあります。利用者が事業所を選択する際、食事や飲み物などで誘っている事業所もあり、非常に迷惑しています。利用者本位でない、利用者の決定を誘導したり強制したりする事業者については、随時指導していただきたく思っています。
- ・ 事業所運営に関する質問にいつも丁寧に回答してくださり感謝しております。訪問介護では煩雑な事務作業、利用者ごとの計画や調整、ヘルパー訪問ごとの状況報告確認、訪問スケジュール調整管理、上限管理、国保請求～利用料請求などに加え、加算や届出提出や指定の更新があります。それをサービス提供責任者が担うことの負担が減るような仕組みや取り決めがあるとよいと思います。
- ・ 自施設の利用児の8割近くが普通級に在籍しています。そのため、担任の先生の知識や合理的配慮について柔軟に対応できるかどうかによって、利用児の成長が左右されます。中には、担任の先生が利用児の特性を理解できず叱責ばかりとなり、結果、利用児が「もう生きていたくない、死にたい」と言う事例が毎年あります。教育大学等高等教育の中で専門性を習得できない環境も理由として挙げられますが、そこを解決するには、市として発達障害児が在籍する普通級の担任の研修制度を設ける、または、増やすなどの措置をしてほしいです。先生方の個々の努力だけでは限界があると思います。特に、1年生の担任の先生との連携がとても大切なので、多忙なのは重々承知しているのですが、担当者会なども義務化してほしいです。学校連携について、教育委員会など、行政側からも学校に強く伝えていただきたいです。同様に、合理的配慮とは何かの研修を義務化していただきたいです。市役所同様、公的な場所である教育機関が合理的配慮について理解が低いと感じます。よろしくお願いします。
- ・ 実績記録票の提出をデータのみにしてほしい。印鑑もいらない現状で、紙媒体を提出する必要性がいまいちわからない。
- ・ 重症心身障がい児・者が利用できるサービスの充実。特に、特別支援学校卒業後は自宅から出る機会が激減し、家族の負担が増大するため、通所や入所施設、移動支援などが充実するとよいと思います。重心外の医療的ケア児が安心して地域の学校や重心外の放デイに通えるよう、看護師

の配置など、市でも積極的に取り組んでいただきたいと思います。規模災害時など、被災した発達障害児・者が少しでも過ごしやすい拠点のようなものがあるとよいのではと感じます。

- ・ 障がいを持っている方々も事業所側も、そもそも日中活動をする場所探しと提供がマッチングできておらず、相談支援が稼働できていないことが課題かと感じます。また、実際の現場では利用者の方々の扱いや不正の事実を行政が把握しながらも公開しないというような状況では支援の質はなかなか上げていきにくいのではないのでしょうか。就労の場合、いかに通所をまず安定させるかが優先になりますが、餌付けのような支援で通所につなげるのは根本から違いますし、いかに信頼関係を築くか、また、その上での激励が結果として本人のやる気につながっていくわけですから、その時間を割けないのも現状です。傾聴には時間がかかります。この人たちのもとでならやってみようかな、やれるかもという気持ちを引き出すには時間をかけた傾聴が必要だと感じます。が、そこに加算もなく、作業が止まるわけですから、結果きちんと話を聞く支援者がどれだけいるのか疑問です。相談支援事業所を自分でつなぐことや利用しようとしている事業所に一覧表を見て自分で決めることに、もう少し対応できるよう、就職説明会のような事業所説明会を定期的分野ごとに開催するのもいいかと思います。
- ・ 障がい福祉の財源は無限ではないため、公的資金だけに頼らない各法人等の内部留保を活用した必要な公益的事業の取り組みが必要だと思います。内部留保を法人単体で考えることにより、横断的な公益的事業ができると思っています。(実現は難しいですが。)
- ・ 障害福祉サービスの質を高めるための取り組みに感謝しております。現場では人材確保、特にサービス管理責任者の育成や後任確保が大きな課題となっています。研修や OJT の負担が軽減され、事業所が安定して運営できる仕組みが整うことを望んでおります。今後も利用者さんにとって安心できる環境づくりのために、行政のご支援をお願いしたいと思います。
- ・ 職員の確保が難しいのに加え、職員の人数が毎日厳しく管理されており、なかなか休みが取れない状況。本来ならば労基上、休みはある程度自由にとれるはず。そのことも職員の定着がしにくい要因。事務量が多いし、細かい。本来ならもっと支援に時間をかけたいが、事務作業に時間がかかりすぎている。物価が上がっているので、報酬単価を上げるか、単価数を上げてほしい。運営が厳しい。送迎が厳しい。車の確保、送迎士確保、ガソリン代、点検整備代などに費用がかかる。送迎加算が少ないと感じる。とても賄いきれない。
- ・ 人員基準が厳しい。資格者の求人が集まらない。法改正が多く、そのたびに請求や申請に時間がかかる。改定するなら説明会やわかりやすい資料などを配布してほしい。
- ・ 相談支援は、計画作成やモニタリング以外にも多くの業務（会議開催、通院・手続き同行、関係機関・家族との調整）を行いますが、時間がかかる割に単価が低く請求につながりません。加えて、事業所や利用者から相談支援の立ち位置が理解されにくい状況です。また、利用者のニーズ

に合う社会資源が不足している感じもします。例えば、B型事業所は多くありますが、作業内容や通所時間に幅があれば使いやすいと思います。精神障がいの方は、午前は苦手な方も比較的多く、午後始まりのB型があればいいなという方もいます。

- ・ 大規模災害時について、事業所単位での備えはしているが、いざ災害となると近隣の方々との協力がなければうまくいかないと思っている。こちらの備蓄も、近隣の方々のことを考えると全く足りないと思う。子どもやお年寄り、障害をお持ちの方々にも優しい拠点施設としていくには、市からの補助がないと難しいと思っている（資金面、計画面ともに）。
- ・ 大規模災害時の対応について準備を進めたいが、どこから、どこまですべきかわからないため教えてほしい。法律の改正や義務化に伴う法定研修や訓練が多すぎて、内容が薄くなりがち。BCPなど机上の物を取りあえず整えた現状で、有事に活かせると思えないため、実効性のある計画の立て方を教えてほしい。
- ・ 中核市として、諸計画の策定において、各事業所種別の問題、必要性に応じた、他の自治体のモデルとなるような独自の施策の検討をぜひお願いしたいです。
- ・ 通所施設として、利用者さんに通っていただく上で送迎を行っているが、前回の報酬改定で送迎時間は利用時間とみなしてもらえず、その面でも施設運営が厳しくなっている。送迎中でも急な利用者さん対応に対応することもあり、そのことを踏まえた報酬単価を検討していただきたいです。送迎を行うことで利用者さん、保護者様も安心して利用できる現状があり、事業所として今後も送迎事業を行いやすい環境を提供していただければと思います。
- ・ 当事業所は医療的ケアを必要とする方を含め、重度の方の受入れを行っています。利用者が安心して利用できるように看護師を多く配置していますが、人員配置体制加算、常勤看護師等配置加算だけでは運営が難しいのが現状です。また、体調不良で休まれる方が多く、欠席時対応加算だけでは補填が困難です。単価のベースアップをご検討いただけると助かります。よろしくお願いいたします。
- ・ 特に、就労継続支援B型では、作業工賃額を上げることに苦心している。職員つきで、請負作業や施設外の作業に関わっているので、企業などにはご理解をいただき取引をしてもらえようになりたい。